MITSUBISHI

特定保守製品
※法定点検が必要な製品です。

1006874HH9103

三菱＜ミスト機能付＞バス乾燥・暖房・換気システム

形 名
V-271BZ-MS（1部屋用）
V-273BZL-MS（3部屋用）

インバーター バスカラット24
三菱24時間バス乾燥・暖房・換気システム

据付説明書　販売事業者・据付業者さま用

■本製品は消防法基準適合品です。
■本製品は住宅用です。業務用途では使用できません。
■本製品は給水、ドレン排水（自然こう配）の配管工事が必要です。事前に建築側、ユニットバスメーカーと十分調整してください。
■取付けを始める前に、この据付説明書をよくお読みになり、正しく安全に取付けてください。
電気工事は、販売事業者・据付事業者さまにおいて電気工事士の方が実施してください。（お客さま自身で取付けないでください。無資格者の電気工事は法律で禁止されています。）
■給水配管工事は水道業者指定工事店に依頼してください。

本製品の取付けにあたっては、地域により防災上での制限（火災予防条例に基づく指導）がありますので、詳細は行政官庁または所轄の消防署にお問い合わせください。（本製品は（社）日本電機工業会で定める自主試験基準に適合しております）

**別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。
操作方法をよく説明していただき、
必ずお渡しください。**

お客さまへの説明

- 試運転チェックの結果を、同梱の取扱説明書の「試運転チェックシート」にも記載してください。
- 取扱説明書をお渡しのうえ、「安全のために必ず守ること」「使用方法」「日常の点検・お手入れ」などについてお客さまに説明してください。
- お客さまが長期にわたり不在などで本機を使用しない場合、本体の水抜き運転を行ってからブレーカーを切る必要があります。
必ずお客さまに止水栓とブレーカーの位置をお知らせください。
- 消費生活用製品安全法に定められた、所有者票に記載されている法定説明事項を必ず説明してください。

もくじ

特定保守製品に関するお願い……2
1.安全のために必ず守ること……3
　システム構成図……3
お願い……4～6
　取付けにあたって……4
　浴室天井開口位置と寸法……5～6
　天吊ボルトの位置……6
　アンカーボルトの長さ……6
2.各部のなまえと寸法（外形寸法図）……7～9
　V-271BZ-MS（1部屋用）……7
　V-273BZL-MS（3部屋用）……8
　コントロールスイッチ（別売）……9
　付属品……9
3.取付方法（取付け全体のながれ）……10～23
　1.取付け前の準備……10～12
　2.本体の取付け……12～13
　3.グリルの取付け……14
　4.電気工事……15～17
　5.コントロールスイッチの取付け（脱衣室用、浴室用）……18～20
　6.給水管の配管……20
　7.ドレン管の配管……21
　8.通水テスト……22
　9.衣類吊下げ用パイプの取付け位置……22
　10.副吸込ダクトの取付け……23
4.試運転……24～31
　1 電気・水道工事の確認……24
　2 試運転前の確認……24
　3 電源を入れる（ブレーカーを入れる）……24
　4 初期設定の変更・確認……25～27
　5 運転の確認……27
　6 本体とトイレ（外部）スイッチの確認……28
　7 ミスト運転の確認……29
異常表示……30～31

1 2 3 4

特定保守製品に関するお願い

■本製品は、消費生活用製品安全法で定められた特定保守製品です。

■特定保守製品とは、経年劣化により家屋・身体に危害をおよぼすおそれがあるため、所有者は点検期間に点検を行う（有償の法定点検）などの保守を行うことが求められている製品です。

■消費生活用製品安全法にて、特定保守製品の所有者は、製品の製造・輸入事業者（特定製造事業者等）に対して、所有者情報を提供する責務（消費生活用製品安全法第 32 条の 8 第 1 項）が定められています。

据付設置事業者様へ

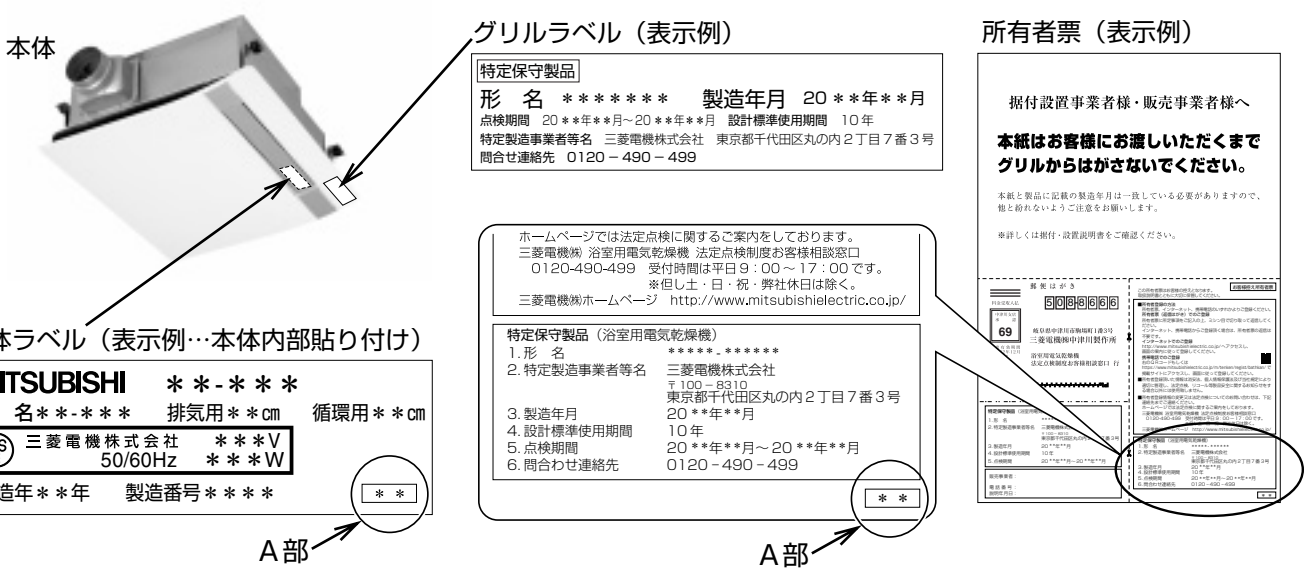
■本体とグリルと所有者票の製造年月を合わせる為下記の確認を行って据付設置をお願いします。

1）本体ラベル、グリルラベルと所有者票の「形名」が同じであること

2）本体ラベルと所有者票の「A部」が同じであること

3）所有者票とグリルラベルの「製造年月」が同じであること

■所有者票はグリルにテープで貼り付けてあります。据付設置が完了するまでグリルに貼り付けたままとしてください。



■別冊の取扱説明書は所有者用ですので、必ず所有者にお渡しください。

販売事業者様へ

■付属の取扱説明書と所有者票（グリルに貼り付け）は、所有者（消費者、賃貸業者）に必ずお渡しください。

■グリルラベルと所有者票に記載されている「形名」「製造年月」が不一致にならないように所有者にお渡しください。

■所有者（消費者、賃貸業者）に対し所有者票に記載されている法定説明事項をご説明いただく義務（消費生活用製品安全法第 32 条の 5 第 1 項）と、所有者情報の提供にご協力いただく責務（消費生活用製品安全法第 32 条の 8 第 3 項）が定められていますので、ご協力をお願いします。

1.安全のために必ず守ること

■取付け前にこの「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、取付けてください。
■取付け完了後、必ず試運転を行い、異常がないことを確認してください。
■試運転後はお客さまに取扱説明書に沿って使いかた、お手入れのしかたを説明してください。
　説明後は「据付説明書」「取扱説明書」共にお客さまへお渡しください。
　お客さまには「据付説明書」「取扱説明書」は大切に保管していただくようご依頼ください。

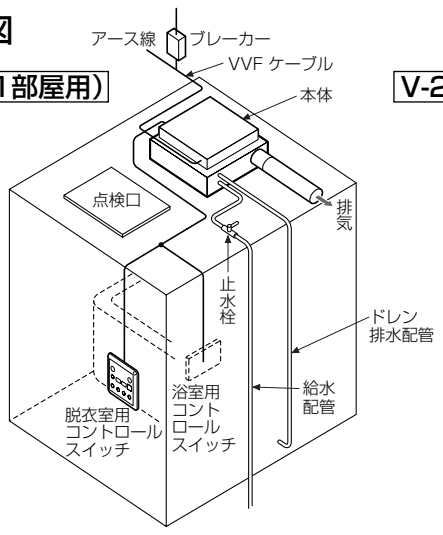
● 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
禁止	**内釜式風呂を据付けた浴室には取付けない** 排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因
禁止	**可燃性のガス漏れに気付いたときは、コントロールスイッチを入・切しない** 爆発や引火の原因
分解禁止	**改造や必要以上の分解はしない** 火災・感電・けがの原因
指示に従う	**本体はネジを使って確実に固定する** 落下によりけがの原因 仮固定プレートは一時的な固定です。ネジを使って本体を確実に固定してください。
指示に従う	**金属製ダクトがメタルラス張り、ワイヤラス張り、ステンレス板などの金属と電気的に接続しないように取付ける** **〔電気設備の技術基準 解釈 第167条3項〕** 接続されていると漏電した場合火災の原因
アース確認	**アースを確実に取付け、漏電しゃ断器を設ける** 故障や漏電のときに感電の原因

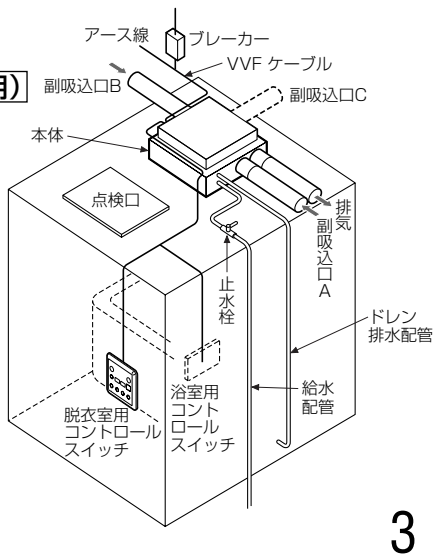
⚠注意	誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
禁止	**直接炎のあたるおそれのある場所には取付けない** 火災の原因
禁止	**浴室内に脱衣室用コントロールスイッチを取付けない** 故障の原因
指示に従う	**本体は十分に強度のある所を選んで確実に取付ける** 落下によりけがの原因
指示に従う	**電源電線の接続は確実に行う** 不確実な接続は接続部が過熱して発火の原因
指示に従う	**電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う** 接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因
指示に従う	**部品の取付けは確実に行う** 落下により、けがの原因
指示に従う	**取付けの際は手袋を着用する** 着用しないと、けがの原因
指示に従う	**取付け後、長期間使用しないときは、分電盤のブレーカーを切る** 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因
指示に従う	**トイレ（外部）スイッチ用電源ケーブルを本体の「AC200V 電源用端子台」に誤接続しない** トイレ（外部）スイッチが焼損する原因

■システム構成図

V-271BZ-MS（1部屋用）



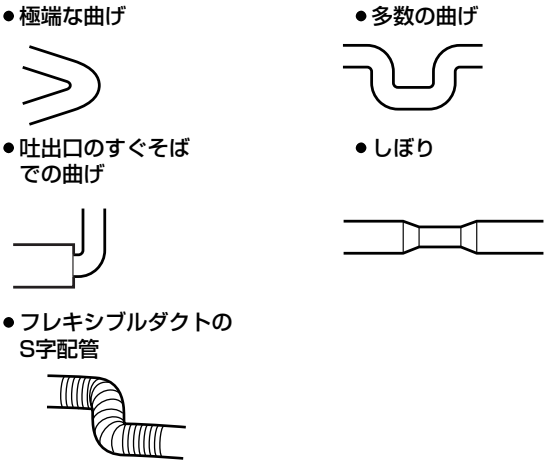
V-273BZL-MS（3部屋用）



お願い

■この製品は給水配管、自然こう配によるドレン排水処理の工事が必要なため、事前に建築側（ユニットバスメーカーなど）と十分に調整してください。
■製品本体の質量がV-271BZ-MS（1部屋用）で約25.5kg、V-273BZL-MS（3部屋用）で約26.5kgあります。天吊り処理が製品本体および配管接続に十分に耐えるか確認してください。
■設置時は、製品や配管内部にゴミなどが入らないよう注意してください。
ゴミが詰まり故障の原因になります。
■寒冷地（最低気温-10℃以下）への設置は避けてください。
凍結により故障の原因になります。製品設置雰囲気は、最低でも10℃以上必要です。

- 常に高温（40℃以上）になるところに取付けないでください。
  高温では、サーモが働きヒーターが通電しません。
- 温泉の浴室やプール等で使用しないでください。
  故障の原因となります。
- この製品は浴室の天井取付け専用です。標準適応サイズは 1.25 坪タイプまでの浴室です。
  ユニットバス以外は浴室温度が十分上昇しないことがあります。
  浴室が大きい場合、窓が大きい場合、タイル貼りの浴室、天然石の壁や床、その他断熱が悪い場合、暖房・乾燥効果、ミスト感は減少します。
- V-271BZ-MS（1 部屋用）は浴室のみの換気です。
- V-273BZL-MS（3 部屋用）は 1 部屋（浴室のみ）換気では使用できません。
  浴室換気ダンパーが閉じているときに換気すると騒音、故障の原因となります。
- 排気ダクトは雨水の浸入やドレンの逆流を防ぐため屋外に向けて 1 ／ 100 以上の傾斜をつけてください。
- 排気ダクトの先端には、鳥などの侵入を防ぐためのベントキャップ（システム部材）または、雨水などの浸入を防ぐためのフード（システム部材）などを取付けてください。
- 本製品で住宅の全般換気を行う場合は居室の扉に通気措置（アンダーカットなど）が必要となります。
- 有機溶剤やスプレーを使う場所には取付けないでください。
  故障の原因となります。
- 次のようなダクトの配管はしないでください。
  風量低下や異常音発生の原因になります



- 市販の圧力損失の大きな屋外フードは使用しないでください。当社製屋外フード（ステンレス製）のご使用をおすすめします。
  風量低下や異常音発生の原因になります

取付けにあたって

- 給水、ドレン管の逃がし寸法または設置方法、ユニットバス内の温湿度の使用可能範囲について、事前に建築側、ユニットバスメーカーと十分に調整してください。
- 給水口付近の点検口から操作可能な位置に、メンテナンス用の止水栓を必ず取付けるようご依頼ください。

※逆止弁付を選定するかどうかは、各市町村の水道局の指導に従ってください。

- 本製品の給水最大流量は1L／分です。
- 給水圧が0.15～0.5MPaの範囲内であるか確認してください。
  （給水圧が0.5MPaを超える場合は、0.2～0.3MPa設定の減圧弁を取付けてください）
- 台所水栓の操作時等にウォーターハンマー現象が発生する場合は、水撃低減器を取付けてください。
- 冬期外気温が0℃以下となりますと給水管の水が凍結し、破損することがあります。破損により水漏れなどの甚大な被害の原因となりますので、必ず凍結予防策を実施してください。また、長期間不在となる別荘等の住宅への設置の場合は、容易に給水側の水抜きができるよう配慮してください。
- 給水配管と本体とを接続する前に、止水栓を開けて水受け容器などに水を出し、給水配管内のゴミ等の異物を流してください。取付け終了後は止水栓を閉じ、電源投入前に本体ストレーナーをはずし、フィルターの掃除を行ってください。

設置場所の確認

製品の取付けには下記のような規制がありますのであらかじめご確認ください。
地域により防災上での制限（火災予防条例に基づく指導）が異なりますので、所轄の行政官庁または消防署にお問い合わせください。

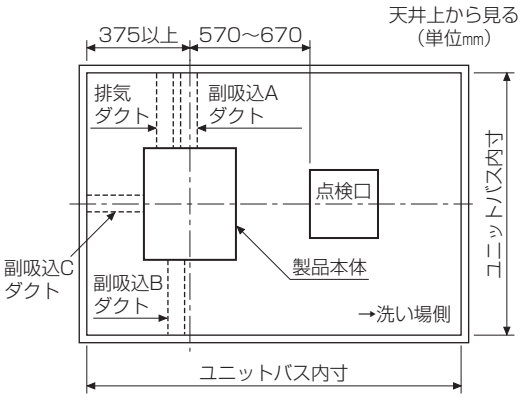
製品本体への給水は上水のみご使用いただけます。温泉水、井戸水では使用しないでください。

- 本製品は1.25坪タイプユニットバスまで設置可能です。
- 浴室は断熱材付としてください。断熱材がなく室温が低い場合、浴室の温度が上がらない場合があります。
- 浴室の天井は平天井タイプをお選びください。天井が傾斜していたり、ドーム形状になっている場合は設置できません。
- 天井材の強度が低い場合は開口部の補強を行ってください。

  強度についてはユニットバスメーカーに確認してください。
- 天井裏ふところ高さはメンテナンスのため280mm以上確保ください。
- 本体は動作時の質量がV-271BZ-MS（1部屋用）で約25.5kg、V-273BZL-MS（3部屋用）で約26.5kgとなりますので、アンカーボルトでの天吊施工としてください。
- 浴室のドアは給気口（ギャラリ）付のものをご使用ください。給気口（ギャラリ）はドア下部に設けてください。
- 本製品運転時はユニットバス内の相対湿度は20～100%RH、室内温度も最大45℃程度まで上昇します。ユニットバス内の接着物、テレビやオーディオシステムなどに支障を生じないことをあらかじめご確認ください。
- 本体は必ず天井板に浴室内から取付けてください。（本体をおろしてメンテナンスができなくなります）
- 浴室の天井高さは2200mm以下としてください。
- 浴室の壁やドアに温風が強くあたる位置は避けてください。
- 浴室に窓を設ける場合は、0.5m²以下としてください。

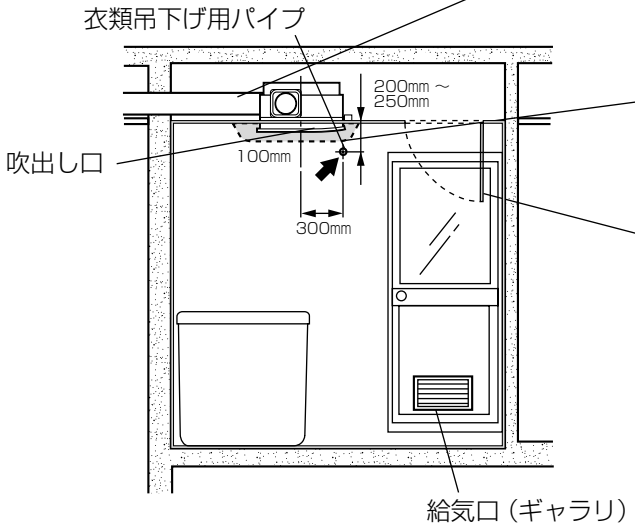
■浴室天井開口位置と寸法

図1　本体位置と換気用ダクトの配置



- ダクトは点検口の開口部を避けて配管してください。
  V-273BZL-MS（3部屋用）では副吸込ダクトはA・B・C内のいずれか2か所の位置が選択できます。
- 製品本体の中心から点検口までの寸法は、取付けまたはメンテナンス作業上、必要ですので確保してください。

図2　火災予防条例指導基準に基づき設置上守ること



排気ダクト
- 不燃材料をご使用ください。
- 専用としてください。ただし、同一の住戸内でトイレ・洗面所などの排気ダクトが不燃材料であれば接続できます。

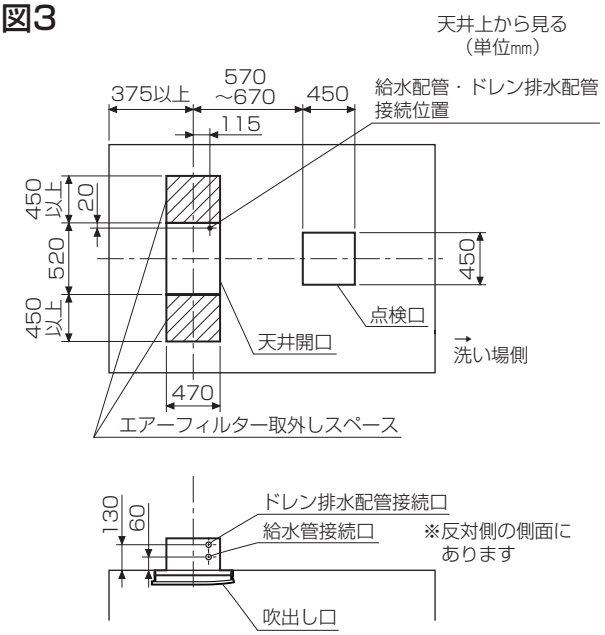
グリルの周囲
- グリル下方100mm未満の範囲には造営材等（乾燥させる洗濯物および吊下げ用パイプを含む）を設けないでください。

点検口
- 本体の近くに本体の点検ができる点検口を設けてください。

吹出し口
- 吹出し口を洗い場に向ける。（乾燥・暖房の効果を上げます）

給気口（ギャラリ）
- 給気口（ギャラリ）を設ける。

図3

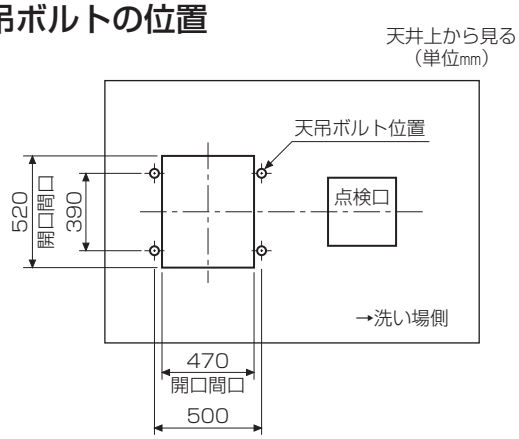


- **天井開口寸法（470×520mm）は、浴槽側に開けてください。**
- **点検口は450×450mmの大きさを確保してください。**
- **浴室天井（▨）部のいずれか一方は、エアーフィルターの取りはずしに必要なスペースです。照明器などを取付けないでください。**
  ※片側どちらかは確保してください。

お願い

- **ミスト運転中は、吹出し口から結露した水が滴下することがあります。浴槽内への滴下をさける場合は、吹出し口の位置が浴槽外となるように天井開口位置を調整してください。**
  浴槽外とする場合は、吹出し口が洗い場の中心よりも浴槽側となるようにしてください。

■天吊ボルトの位置

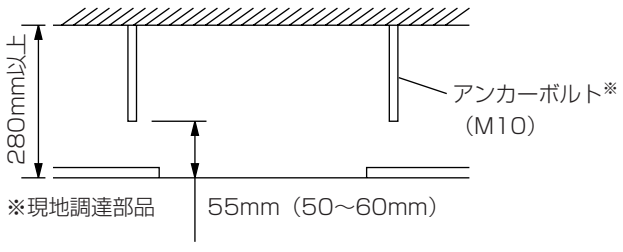


⚠注意

- **アンカーボルトとナットは、必ず本体の荷重に耐えられるものを使用する**
  落下によりけがや浴槽、本体の破損の原因
  ※本体荷重はV-271BZ-MS（1部屋用）で約25.5kg、V-273BZL-MS（3部屋用）で約26.5kgです。

- **天吊りのためのアンカーボルトは市販（M10）のものを埋設してください。**
- **ユニットバス設置位置をよく確認してからアンカーボルトの位置を決めてください。**

■アンカーボルトの長さ



- **アンカーボルトを傾きがないように天井に取付けてください。**
  ※アンカーボルトの先端部が天井下面を基準にして55mmになる位置に調節してください。
  ※アンカーボルトが短い場合には本体の取付けができなくなります。

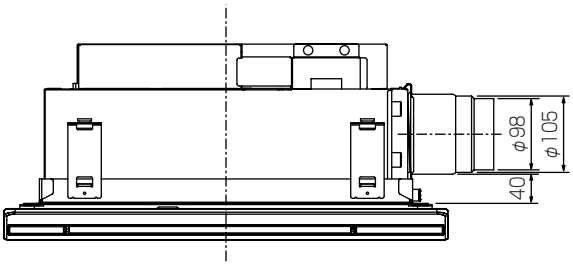
お願い

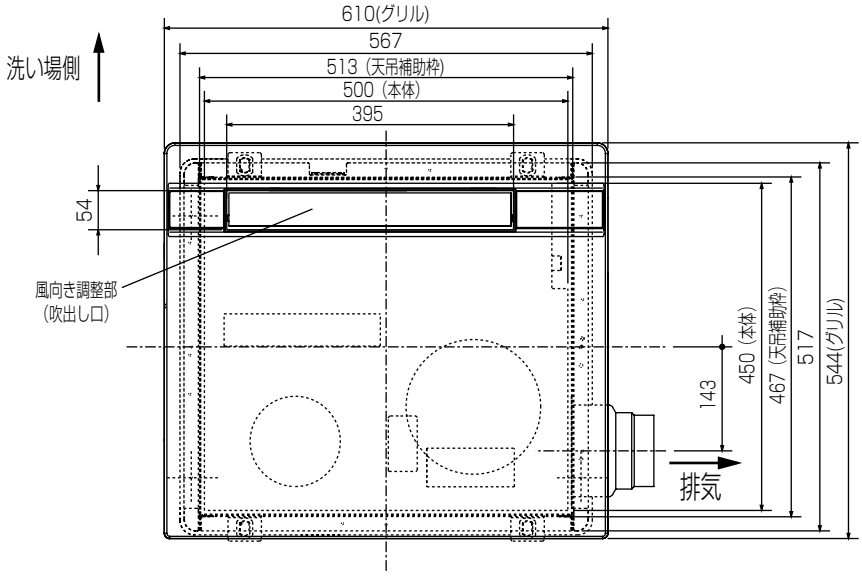
- ボルト・ナットはステンレス製または防錆処理を施したものを使用してください。また寸切りしたボルトなどの切断面にも防錆処理を行ってください。ただしステンレス製の切断面は除きます。
- 製品本体吊り位置とアンカーボルトの位置がずれないようにしてください。
- 天井にアンカーボルトを固定するとき、製品重量に耐えられるようアンカー強度に注意してください。
- アンカーボルトは垂直に取付けてください。また、アンカーボルトを途中で曲げないようにしてください。

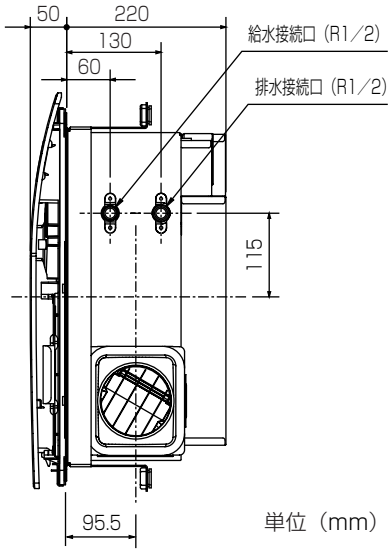
2.各部のなまえと寸法（外形寸法図）

■本　体

V-271BZ-MS（1部屋用）





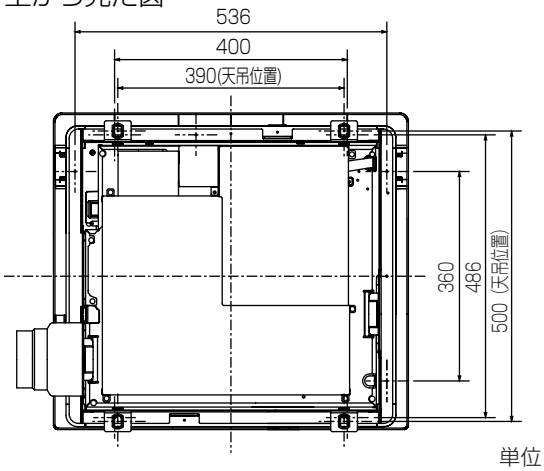


単位（mm）

■天井開口寸法

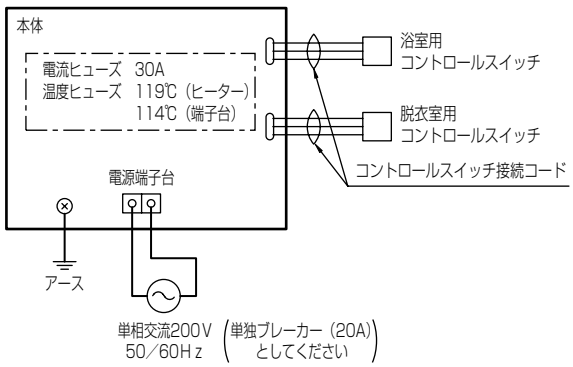
V-271BZ-MS（1部屋用）
- 本体取付け……470mm×520mm
- 点検口……□450mm

上から見た図



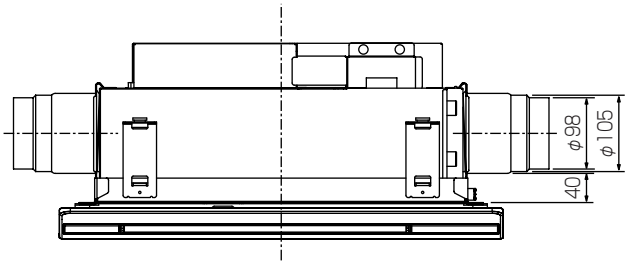
単位（mm）

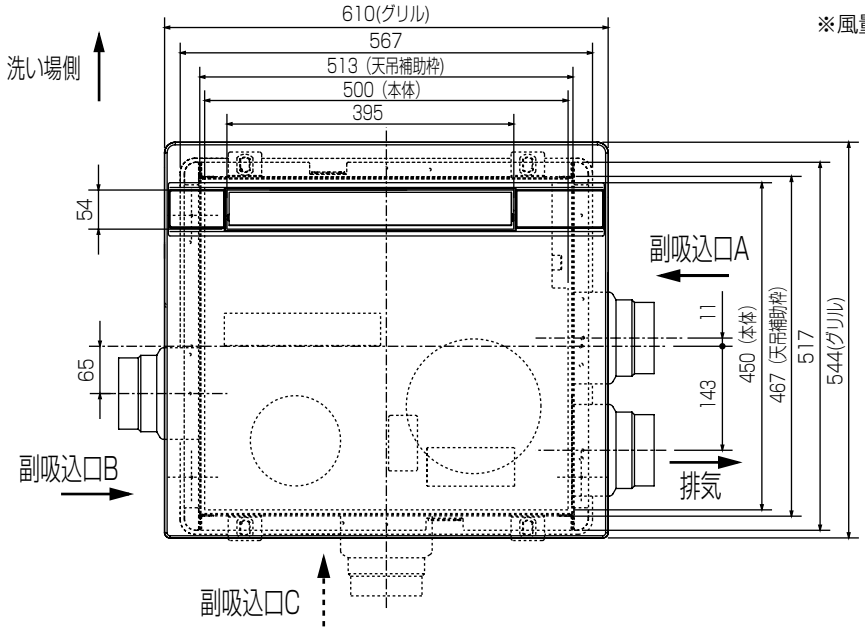
■結線図



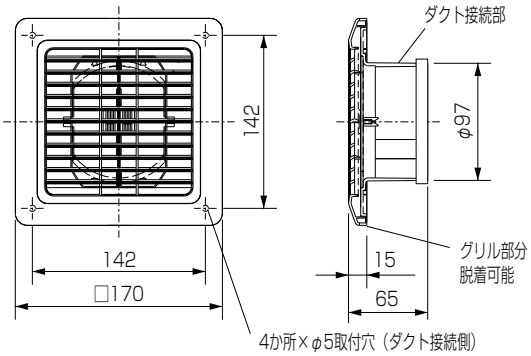
■本　体

V-273BZL-MS（3部屋用）



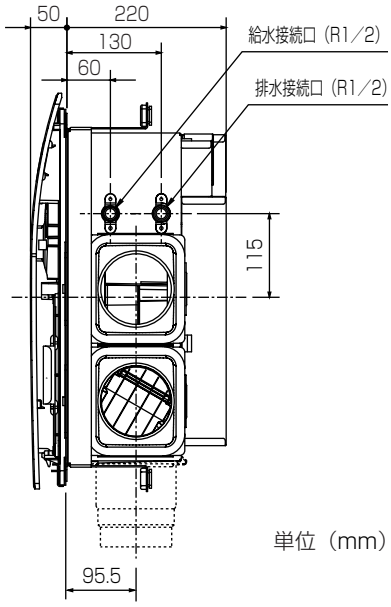


■副吸込口グリル（同梱品）



※風量調整シャッター付

単位（mm）



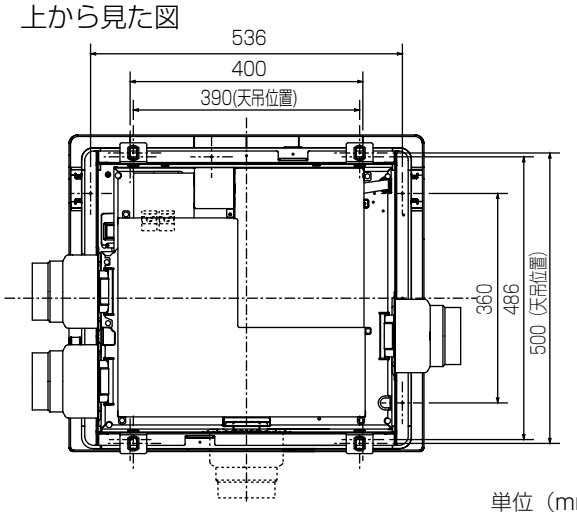
単位（mm）

■天井開口寸法

V-273BZL-MS（3部屋用）

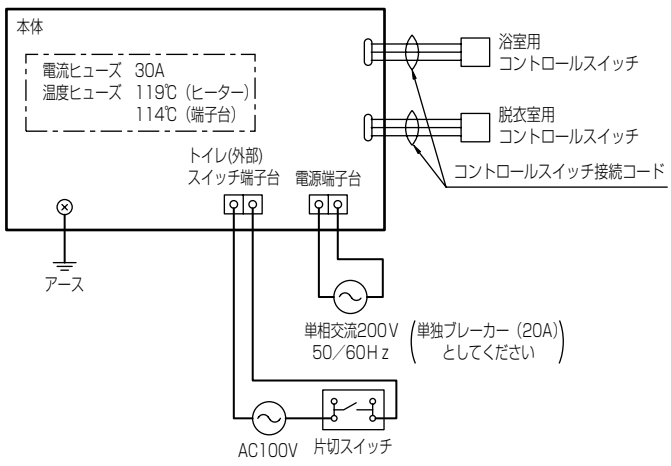
- 本体取付け……470mm×520mm
- 点検口……□450mm

上から見た図



単位（mm）

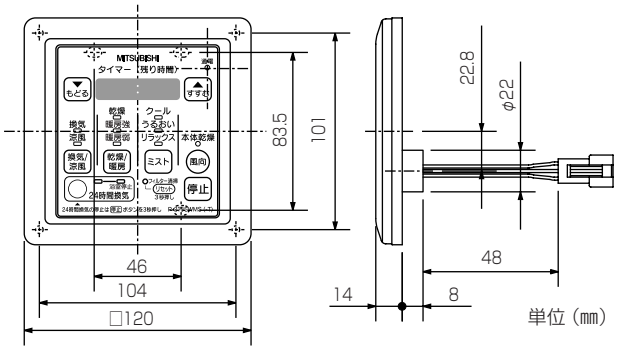
■結線図



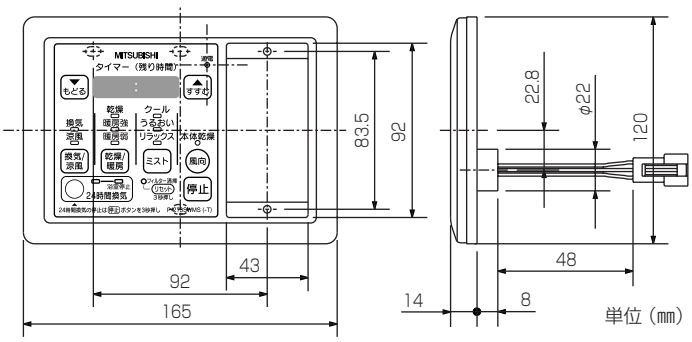
■コントロールスイッチ（別売）

●コントロールスイッチはV-273BZL-MS（3部屋用）、V-271BZ-MSタイプ（1部屋用）とも共通です。

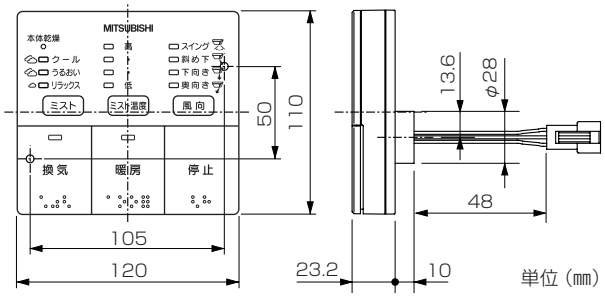
脱衣室用　標準タイプ（形名：P-273SWMS）



脱衣室用　照明タイプ（形名：P-273SWMS-T）



浴室用

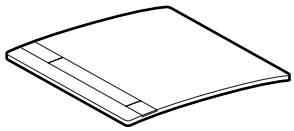


（脱衣室用コントロールスイッチと浴室用コントロールスイッチは各1個のセットで別売品です。）

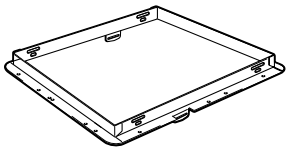
■付属品

お願い　●この製品専用の付属品あるいは指定のもの（別売品）以外は使用しないでください。

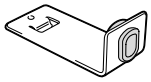
①グリル



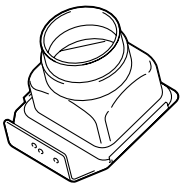
②天吊補助枠



③天吊金具

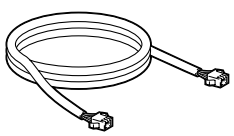


④ダクト接続口



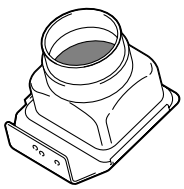
No	名称	V-271BZ-MS（1部屋用）	V-273BZL-MS（3部屋用）
①	グリル	1個	1個
②	天吊補助枠	1個	1個
③	天吊金具	4個	4個
④	ダクト接続口（「排気口」表示有）	1個	1個
⑤	コントロールスイッチ接続コード（5m）	2本	2本
⑥	仮固定プレート	2個	2個
⑦	4×25ドリルネジ（本体取付用、ダクト接続口、カバープレート固定用）	15本	18本
⑧	4×6 トラスタッピンネジ（天吊金具固定用）	4本	4本
⑨	副吸込口ダクト接続口	—	2個
⑩	副吸込口グリル	—	2個
⑪	カバープレート	—	1個
⑫	電線識別用ラベル	—	1枚
⑬	木ネジ（副吸込グリル取付用）	—	8本
⑭	取扱説明書	1冊	1冊
⑮	据付説明書	1冊	1冊

⑤コントロールスイッチ接続コード（5m）

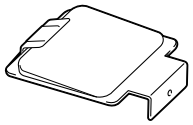


⑦ドリルネジ

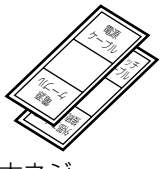
⑨副吸込口ダクト接続口



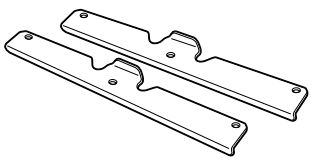
⑪カバープレート



⑫電線識別用ラベル

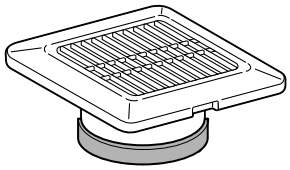


⑥仮固定プレート



⑧トラスタッピンネジ

⑩副吸込グリル



⑬木ネジ

3. 取付方法

■取付け全体のながれ

取付手順

1. 取付け前の準備 P10〜P12
2. 本体の取付け P12〜P13
3. グリルの取付け P14
4. 電気工事 P15〜P18
5. コントロールスイッチの取付け P18〜P20
6. 給水管の配管 P20
7. ドレン管の配管 P21
8. 通水テスト P22
9. 副吸込ダクトの取付け P23

試運転（風量設定等） P24〜P29

V-273BZL-MS（3部屋用）のみ

- 排気方向と本体の向きを確かめ、正しく安全に取付けてください。
- 電気工事は天井裏ふところが狭くなると、本体取付後に配線が難しい場合があります。その場合はあらかじめ点検口付近まで配線しておくことをおすすめします。
- V-273BZL-MSは吸込口を3方向から選択できます。排気口は1方向です。

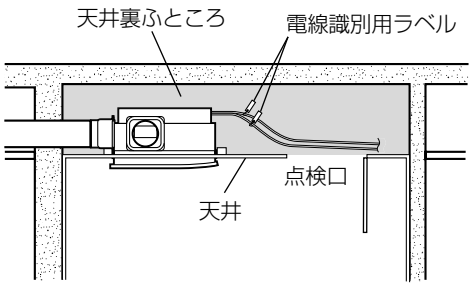
1 取付け前の準備

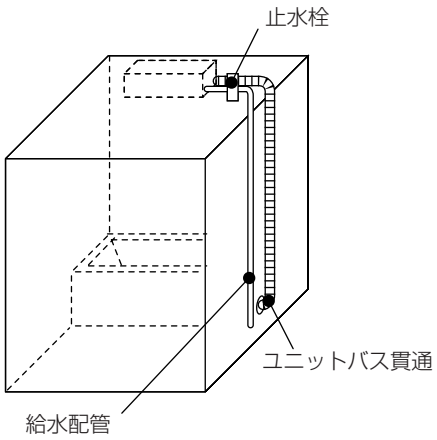
お願い

- **給水・ドレン排水工事は各市町村の条例に従ってください。**
- **逆止弁の要否は各市町村水道局（課）へお問い合わせください。**
- **給水配管材料は、各市町村水道局（課）の承認のものを使用してください。**
- **ユニットバス設置時にあらかじめ水道給水配管およびドレン排水配管工事を行ってください。**
- **天井裏ふところが狭く、電気工事が困難な場合、電気工事は製品を天井に取付ける前に行ってください。**
- **V-273BZL-MSの場合、端子台への誤結線防止のため、各ケーブルの先端部に識別用ラベル（付属品）を付けてください。**

1　給水管を配管し、止水栓を設置する。

- 右図例を参考に止水栓を給水口付近の点検口から操作可能な位置に必ず設置し、10A 配管径にて事前工事を行ってください。
  ※給水配管工事は水道業者指定工事店に依頼してください。
  ※止水栓、継ぎ手への保温（結露防止）にご配慮ください。
  ※凍結の恐れがある場合は凍結予防策を実施ください。
  ※必要に応じて保温材をご使用ください。
  ※給水水圧が 0.5MPa を超える場合は 0.2 ～ 0.3MPa 設定の減圧弁を取付けてください。
  ※ウォーターハンマー現象が発生する場合は水撃低減器を取付けてください。
  ※給水配管は、点検口の上を通さないでください。（点検作業に支障をきたします。）
  ※給水配管は、排気ダクト、給気ダクトに当たらないようにしてください。（振動、騒音の原因となります。）
  ※給水配管は固定してください。（振動、騒音の原因となります。）
  ※製品本体の取りはずしを容易にするため、本体と給水配管の接続は、継手が管に対して回る（継手と管が共回りしない）タイプの継手を使用してください。

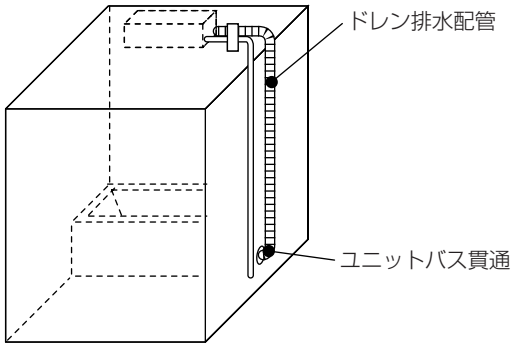




2　ドレン配管をする。

- ドレン温度は最高 50℃です。ドレン温度に耐える樹脂管などを選定し、適切な配管径にて事前に配管を行ってください。

  ※排水配管は先端を必ず大気開放にして、トラップ構造とならないよう下りこう配にて排水口まで導いてください。（ドレンが配管内に残ると雑菌やカビ、臭いが発生する場合があります）
- ドレン排水配管は、排水位置や壁貫通位置を事前に建築業者およびユニットバスメーカーと調整してください。



3　配線をする。

- ２芯の電源ケーブル（VVF ケーブルφ 2mm）、アース線を配線してください。
- コントロールスイッチ接続コード（本体に取付け）を本体からコントロールスイッチ取付位置まで配線します。
- コントロールスイッチ接続コードの長さがたりない場合には「延長用リモコンコード」（システム部材）をご使用ください。（最大 15m まで）
- 電源ケーブルは専用の分岐ブレーカー（20A）より配線してください。
- 漏電しゃ断器を取付けてください。

⚠警告

アースを確実に取付け、漏電しゃ断器を設ける

故障や漏電のときに感電の原因

4　取付位置・排気方向・副吸込方向を決める。

お願い

- あらかじめ洗い場側、配管位置、排気方向を確認してください。

V-273BZL-MS（3部屋用）のみ

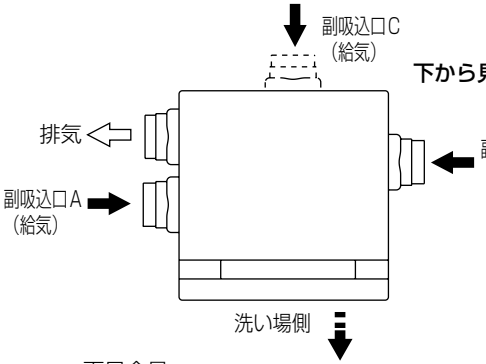
副吸込ダクトの接続口を選択する

副吸込側ダクト接続口は副吸込（A・B・C）の3方向より2ヶ所まで選択できます。

お願い

- 3部屋用で1ヶ所のみ選択する場合は、副吸込AまたはCとしてください。

  ※カバープレート（システム部材（別売）P-233CPMS ）が必要です。

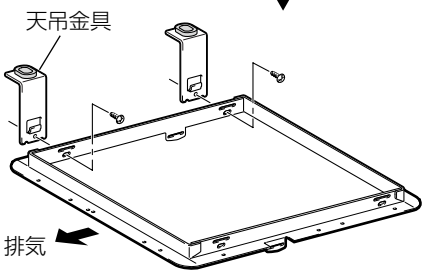


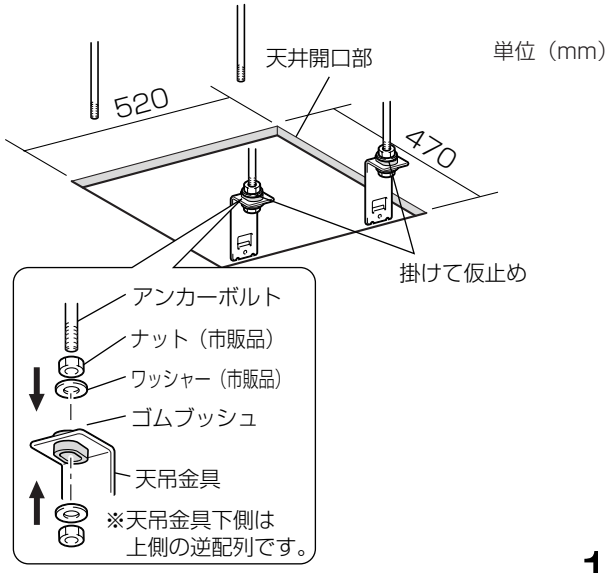
5　天吊補助枠を取付ける。

接続するダクトの配管方向を確認してください。

6　天吊金具を取付ける。

天吊補助枠の一方向側にあらかじめ天吊金具（2個）を天吊補助枠に付属の取付ネジ（4×6トラスタッピンネジ各1本）で固定する。





7　天吊補助枠を仮固定する。

（1）アンカーボルト（4本）にナット（市販品）を取付ける。

（2）天吊金具（2個）をアンカーボルトにワッシャー（市販品）を入れ天吊金具を差し込み、ワッシャー、ナットの順で仮固定する。

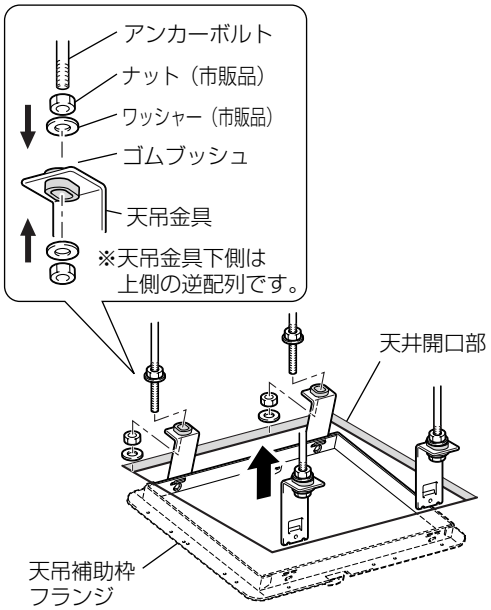
1 取付け前の準備　つづき

7　天吊補助枠を仮固定する。（つづき）

（3）右図を参照し、天吊補助枠に固定した天吊金具（2個）をアンカーボルトにワッシャー（市販品）を入れてから差し込み、ワッシャーとナットで仮固定する。

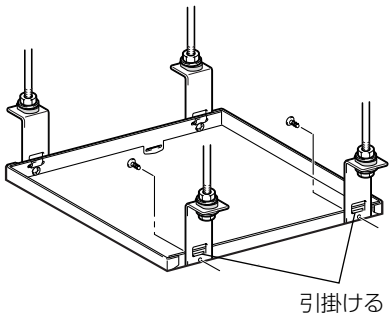
（4）天吊補助枠の反対側を天井面に持ち上げ、天吊金具（2個）を天吊補助枠に引掛け、アンカーボルトにワッシャーを入れ天吊金具を差し込み、ワッシャー、ナットの順で取付ける。

（5）付属の取付ネジ（4×6タッピンネジ各1本）で天吊金具を天吊補助枠に固定する。



8　天吊補助枠を固定する。

天吊補助枠が水平となるようにナット（4ヶ所）を調整し、天吊補助枠が天井にあたる位置まで締付けて固定する。（天吊補助枠の傾きは1˚以内としてください。1˚以上傾くとミスト機能の動作不良や水漏れ、排水不良の原因となります。）



お願い

- 天吊金具を固定するナットをしっかりと締め、天吊補助枠のフランジがしっかりと天井面に密着していることを確認してください。（天井との間にすき間があると、天井裏への湿気漏れの原因となります。）
- ナットがゆるまないように確実な処置で固定してください。（ダブルナット固定を推奨します。）

2 本体の取付け

⚠ 警告

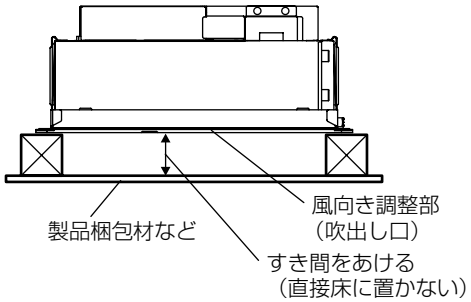
- **本体はネジを使って確実に固定する**

落下によりけがの原因

仮固定プレートは一時的な固定です。ネジを使って本体を確実に固定してください。

お願い

- **設置の際、本体吹出し口側を下にして床置きすると、風向き調整部を破損しますので絶対にしないでください。床置きする場合は梱包材など、風向き調整部が直接床に当たらないようにしてください。**



1　ダクト接続口、カバープレートを取付け、ダクト配管を行う。

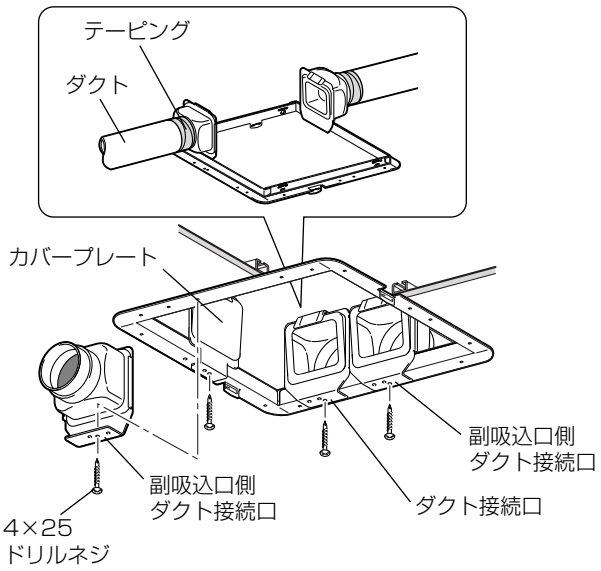
（1）ダクト接続口を天吊補助枠の“排気”表示部に付属のネジ（4×25ドリルネジ 1本）で固定する。

- 排気側ダクト接続口の固定用穴を使用してください（「△」マーク位置）。

（2）V-273BZL-MS（3部屋用）の場合は、副吸込口ダクト接続口は天吊補助枠の表示に従い固定用穴（「△」マーク位置）を使用して、あらかじめ決めた天吊補助枠の位置に付属のネジ（4×25ドリルネジ 1本）で固定する。

（3）ダクトをそれぞれのダクト接続口にしっかり差し込んで風漏れのないようテーピングする。

（4）V-273BZL-MS（3部屋用）の場合は、ダクト接続口を取付けない箇所にはカバープレートを天吊補助枠の表示に従い固定用穴（「△」マーク位置）を使用して、あらかじめ決めた天吊補助枠の位置に付属のネジ（4×25ドリルネジ 1本）で固定する。

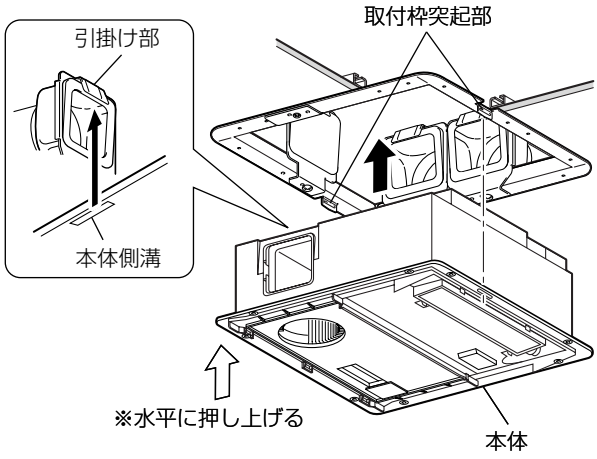


お願い

- ダクトは本体に力が加わらないよう天井から吊してください。
- ダクト接続口とダクトを接続する際に、ダクト接続口にネジ止めする場合は、シャッターの動きを妨げない位置へネジ止めしてください。

2　本体を取付ける。

本体を天吊補助枠開口部に沿って差し込み、本体上面の溝とダクト接続口の上側の引掛け部がはまり込むように、本体を水平に押し上げる。

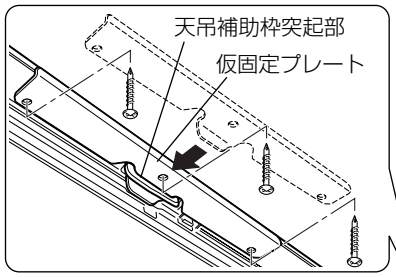


お願い

- 天吊補助枠への本体挿入の際は、本体を天井面になるべく水平にして行ってください。
- コントロールスイッチ接続コードは取付けの邪魔にならないように本体の上へのせておいてください。
- 引掛け部が本体溝に正しくはまっているか確認してください。

3　仮固定プレートで仮固定する。

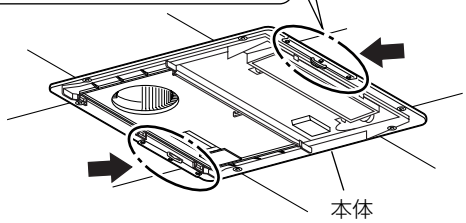
天吊補助枠の突起部に仮固定プレートを2ヶ所に差し込み、付属の取付ネジ（4×25ドリルネジ3本）で本体を固定する。

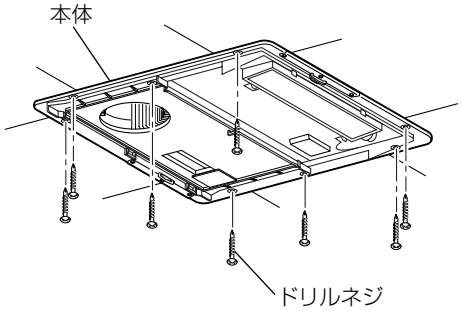


4　本体を固定する。

付属の取付ネジ（4×25ドリルネジ 8本）で本体をしっかり固定する。

- 排気側ダクト接続口および副吸込側ダクト接続口（3部屋用のみ）が本体に密着していることを確認してください。
- 本体と天吊補助枠との間にすき間がないか確認してください。





お願い

●グリルは全ての作業を終え、試運転を行った後に取付けてください。（ストレーナーの清掃、本体ダンパーの動作確認（3部屋用のみ）のため） P24~29

3 グリルの取付け

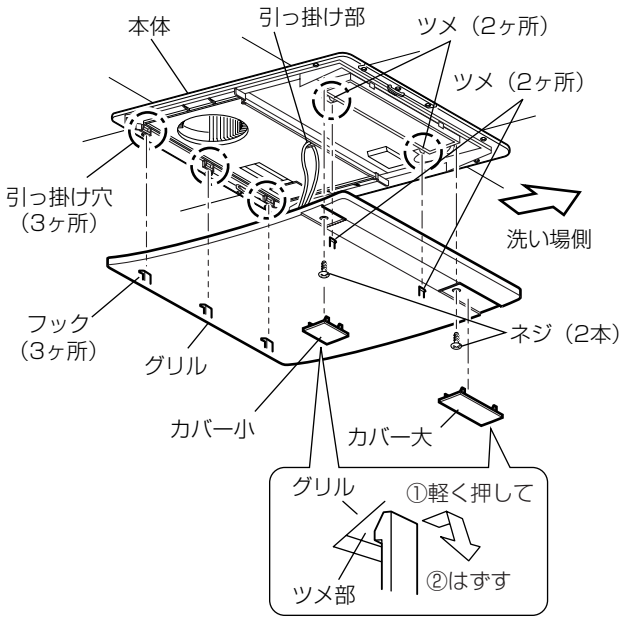
本体にグリルを取付ける。

（1）グリル裏側からカバー大小のツメを起こしてはずす。
- 強くツメを起こすと折れる場合があるため、注意してはずしてください。

（2）本体の引っ掛け部にグリルの「落下防止ひも」を取付けてください。

（3）グリルのフック（3ヶ所）を本体引っ掛け穴（3ヶ所）に引っ掛け、グリルを押し上げながら、ツメ（2ヶ所）が本体ツメに「カチッ」と掛かることを確認する。

（4）本体取付ネジ穴にグリルのネジを合わせ、2ヶ所をネジで固定する。



お願い

- 締め付け部が破損するおそれがあるため、グリルのネジは手締めで締めてください。
- 工具の先端でグリル表面を傷つけないようにしてください。

お願い

- **グリルは全ての作業を終え、試運転を行った後に取付けてください。（ストレーナーの清掃、本体ダンパーの動作確認（3部屋用のみ）のため）** P24~29

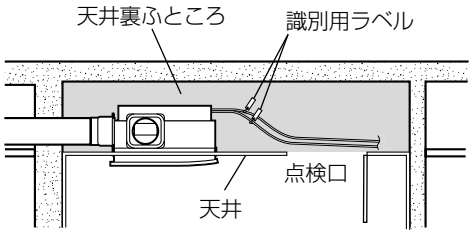
4 電気工事

⚠注意

- **脱衣室用コントロールスイッチを浴室内に設けない**
  故障の原因
- **電源電線の接続は確実に行う**
  接続部が過熱して発火する原因
- **電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って電気工事士が安全・確実に行う**
  接続不良や誤った電気工事は感電や火災の原因

お願い

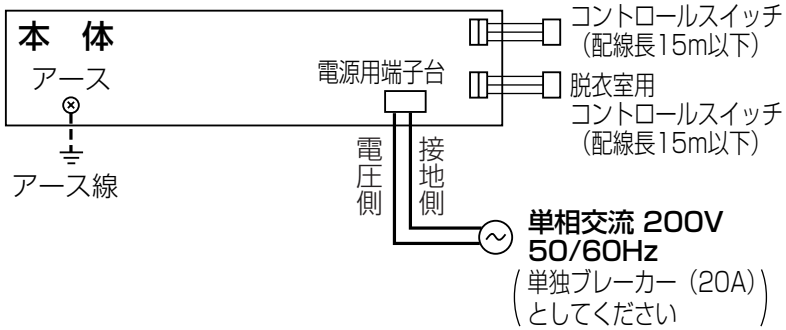
- 天井裏ふところが狭く、電気工事が困難な場合、電気工事は製品を天井に取付ける前に行ってください。
- V-273BZL-MS（3部屋用）の場合は、端子台への誤結線防止のため、各ケーブルの先端部に識別用ラベル（付属）を付けてください。



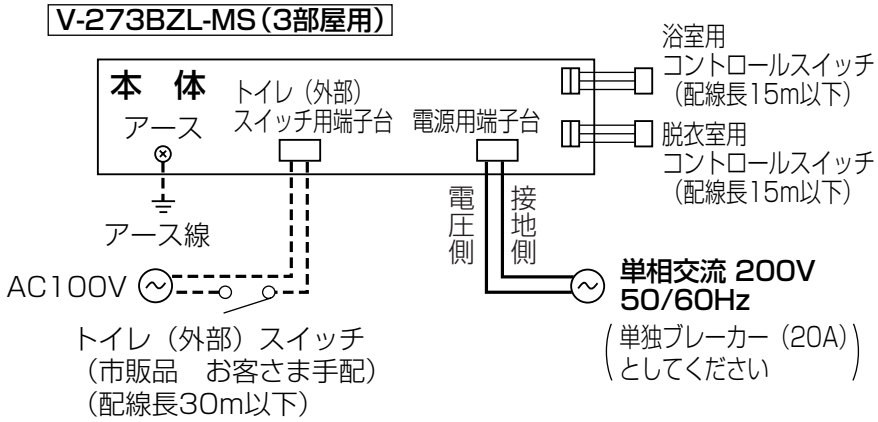
■結線図…太線部分を結線してください。コードは、約 2m の余裕をもって配線してください。

※電線の接続はジョイントボックス内にて行ってください。

V-271BZ-MS（1部屋用）



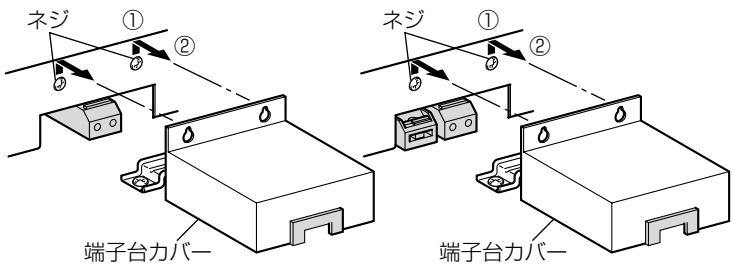
V-273BZL-MS（3部屋用）



1　端子台カバーを取り外す。

ネジ2本をゆるめ（①）、端子カバーを上にずらし手前に引きながら端子台カバーをはずす。（②）

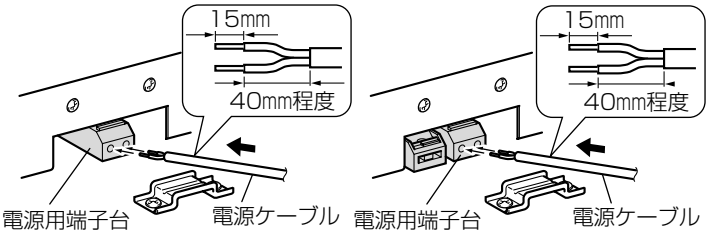
V-271BZ-MS（1部屋用）　V-273BZL-MS（3部屋用）



2　「電源用端子台」へ接続する。

本体の「電源用端子台」に電源ケーブル（VVFケーブルφ2mm）の芯線が見えなくなるまでしっかりと差し込む。

- ケーブル先端の皮むき寸法は **15mm** です。
- ケーブル外皮は **40mm程度** むいておいてください。
- 電源ケーブルを抜く場合は、端子台の白いボタンを、マイナスドライバーの先で押しながら電源ケーブルを引いてください。



3　アース工事を行う。

（1）本体のアース端子（ネジ）にアース線を接続して必ずD種接地工事(アース工事)を行う。

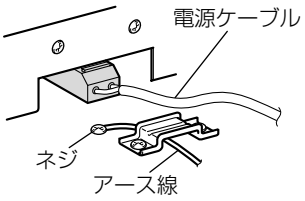
（2）アース線をアースに接地する。

⚠警告

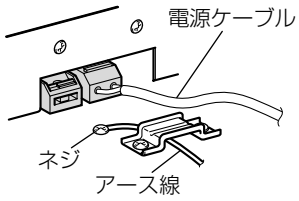
アースを確実に取付け、漏電しゃ断器を設ける

故障や漏電のときに感電の原因

V-271BZ-MS（1部屋用）



V-273BZL-MS(3部屋用)



V-273BZL-MS(3部屋用) のみ

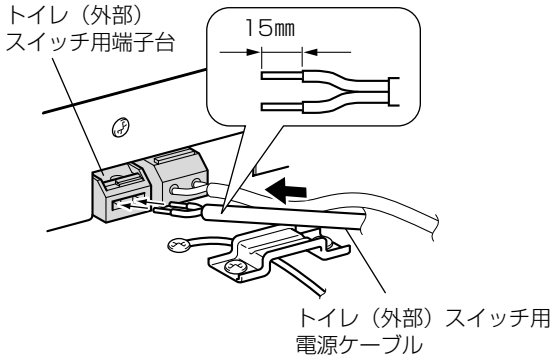
トイレ（外部）スイッチを使用する場合

4　必要に応じてトイレ（外部）スイッチの接続を行う。

本体の「トイレ（外部）スイッチ用端子台」に、AC100Vの電源を接続用ケーブル（VVFケーブル φ1.6mmまたはφ2mm）の芯線が見えなくなるまで差し込む。

- リード線の皮むき寸法は15mmです。
- ケーブル外皮は40mm程度むいておいてください。

トイレ（外部）スイッチは、本体停止時や運転中にトイレなどから本体換気ファンを運転させたり換気の風量を大きくするためのスイッチです。



■トイレ（外部）スイッチは下記仕様のスイッチを使用してください。

表示なしスイッチ

一般的な片切／3路スイッチ（AC100V～300V）が使用できます。

パイロットランプ付（オンピカタイプ）

定格0.5A-100V～0.5A-300V(低負荷用)のスイッチを選定ください。

⚠注意

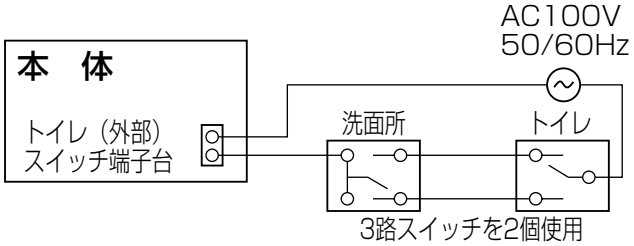
- **トイレ（外部）スイッチ用電源ケーブルを本体の「AC200V 電源用端子台」に誤接続しない**

  トイレ（外部）スイッチが焼損する原因

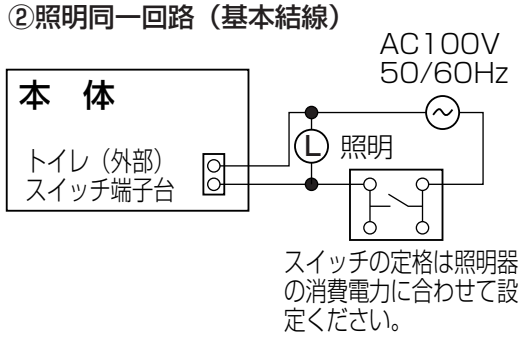
■外部結線例

①2ヶ所ON／OFF（階段スイッチ）

※任意の方向にスイッチを倒すと外部スイッチをON/OFFできます。



②照明同一回路（基本結線）



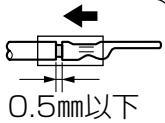
お願い

- 結線を間違えないでください。
  （本体が動作しないか､基板ヒューズが溶断します）
- トイレ（外部）スイッチの接続用ケーブルがより線の場合、右記の棒型圧着端子（お客さま手配）を専用工具でかしめてご使用ください。

■圧着端子使用方法

棒型圧着端子 形名：ニチフ製 TMEN TC-1.25-16（または同等品）

1.先端を約6㎜皮むきした電線に、棒型圧着端子を差し込みかしめる。



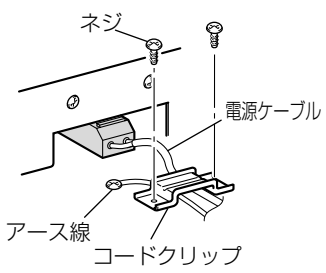
適用圧着工具：

ニチフ製　NH-11またはNH-32と同等品

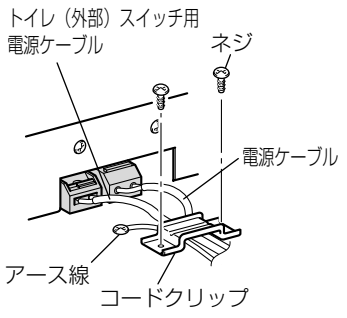
5　ケーブルを固定する。

コードクリップにて図の通りにケーブルを固定する。

V-271BZ-MS（1部屋用）



V-273BZL-MS（3部屋用）

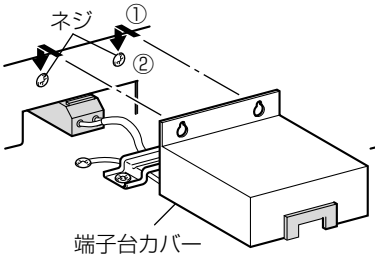


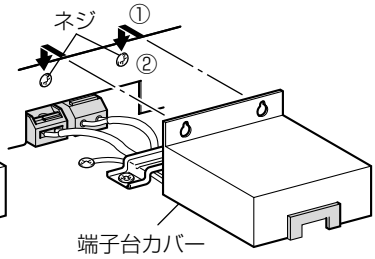
6　端子台カバーを取付ける。

端子台カバーの奥側を本体ネジに引っかけて（①）、ネジをしめて固定する（②）。

お願い

- ケーブルが端子台カバーに沿うように形を整えてください。
  （端子台カバーが固定しやすくなります）
- 端子台カバーでケーブルをはさまないようにしてください。



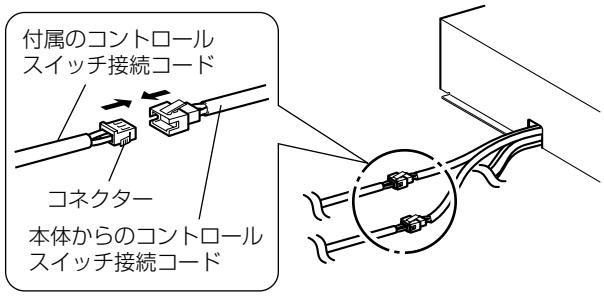


7　本体とコントロールスイッチ接続コードを接続する。

付属のコントロールスイッチ接続コードを2本とも本体からのコントロールスイッチ接続コードと接続する。

お願い

- コネクターはカチッというまで確実に接続してください。
- 2つのコントロールスイッチはどちらのコントロールスイッチ接続コードのコネクターに接続しても動作します。



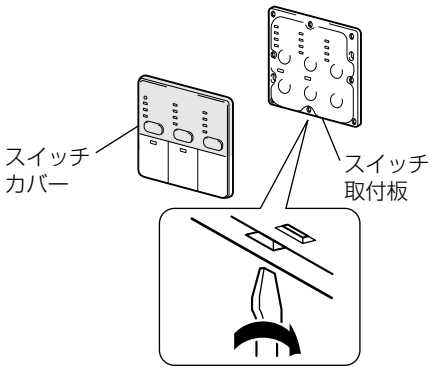
5 コントロールスイッチの取付け（脱衣室用、浴室用）

■取付け前の準備

- 準備するネジ（脱衣室用）
  スイッチボックスに取付ける場合：M4×20皿ネジ（標準タイプ：3本、照明タイプ：5本）
  壁に直接取付ける場合：φ3×20木ネジ（4本）
  ※浴室用コントロールスイッチは付属のネジをご使用ください。
  ※ネジの長さは一般的な例です。壁の厚さに応じて選定してください。
- コントロールスイッチ接続コード（本体同梱部品、有効長約 5m）を準備してください。
- コントロールスイッチ接続コードの長さがたりない場合には「延長用リモコンコード」（システム部材）をご使用ください。
- 本体側に約 2m 余裕をもって配線してください。
- コントロールスイッチ接続コードは 15m 以上に延長しないでください。
  誤動作の原因になります。

お願い

- メンテナンスなどでスイッチカバーをスイッチ取付板から取りはずすことがあるため、コントロールスイッチ下方にはマイナスドライバーが入るスペースを確保してください。
- スイッチカバーをスイッチ取付板からはずす際は、マイナスドライバーをスイッチカバー下部のツメにひっかけてはずしてください。



■脱衣室用コントロールスイッチを取付ける

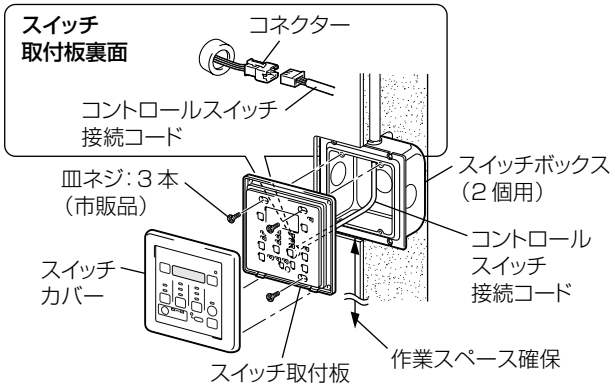
■2 個用スイッチボックスに取付ける場合（標準タイプ）＊1 個用スイッチボックスには取付けられません。

1 **壁に市販の2個用スイッチボックスを埋め込み、コントロールスイッチ接続コードを配線する。**

2 **スイッチカバーをスイッチ取付板からはずす。**

3 **スイッチ取付板から出ているコネクターにコントロールスイッチ接続コードを接続し、市販の皿ネジ（3本）でスイッチボックスに固定する。**

4 **スイッチカバーをスイッチ取付板にはめ込む。**



お願い

- ネジをしめすぎないでください。スイッチ固定板の角が浮いたりネジ穴部が割れるおそれがあります。
- コネクターはカチッというまで確実に接続してください。
- 結露しやすい壁には取付けないでください。壁をつたった結露水が内部に浸入するおそれがあります。

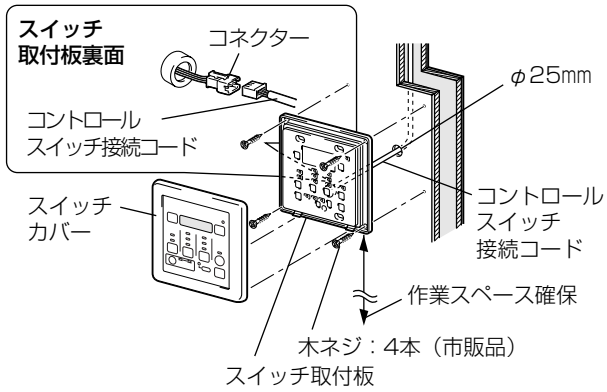
■壁に直接取付ける場合

1 壁にφ25mmの穴をあけ、コントロールスイッチ接続コードを配線する。

2 スイッチカバーをスイッチ取付板からはずす。

3 スイッチ取付板から出ているコネクターにコントロールスイッチ接続コードを接続し、市販の木ネジ（4本）で壁に固定する。

4 スイッチカバーをスイッチ取付板にはめ込む。



お願い

- コントロールスイッチ接続コードがかみこまないように配線してください。
- コントロールスイッチは必ず平面な壁に取付けてください。
- コネクターはカチッというまで確実に接続してください。
- 結露しやすい壁には取付けないでください。壁をつたった結露水が内部に浸入するおそれがあります。

■３個用スイッチボックスに取付ける場合（照明タイプ）

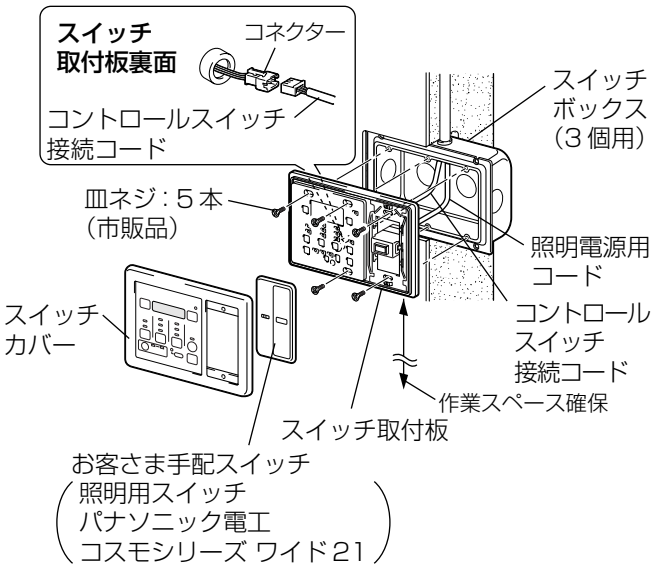
1 壁に市販の3個用スイッチボックスを埋め込み、コントロールスイッチ接続コードと照明用の電源コードを配線する。

2 スイッチカバーをスイッチ取付板からはずす。

3 スイッチ取付板から出ているコネクターにコントロールスイッチ接続コードを接続する。

4 お客様手配の照明用スイッチを説明書に従い結線し、市販の皿ネジ（5本）でスイッチボックスに取り付ける。
- 照明用スイッチについては照明タイプコントロールスイッチの外形寸法を参照してください。

5 スイッチカバーをスイッチ取付板にはめ込む。



お願い

- コントロールスイッチ接続コードは照明用の電源コードと別配線とし、10mm以上離して配線してください。誤動作の原因になります。
- ネジをしめすぎないでください。スイッチ固定板の角が浮いたりネジ穴部が割れるおそれがあります。
- コネクターはカチッというまで確実に接続してください。
- 結露しやすい壁には取付けないでください。壁をつたった結露水が内部に浸入するおそれがあります。

5 コントロールスイッチの取付け（脱衣室用、浴室用）つづき

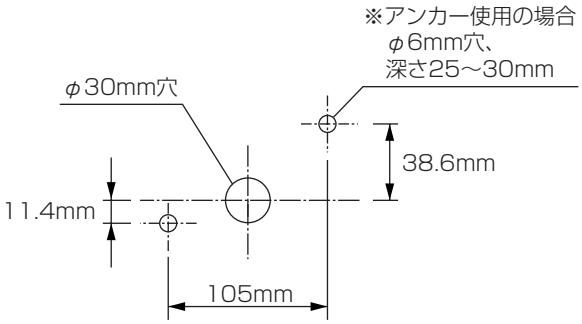
■浴室用コントロールスイッチを取付ける

お願い

- 直接風があたったり照明などで高温になるところには取付けないでください。
- 正規以外の取付けでは内部に湿気が入ることがあります。

1　右図を参照し、浴室壁にφ30mmの穴をあけ、コントロールスイッチ接続コードを配線する。

- 浴槽縁の上（200～250mm程度）など、入浴時に操作しやすい位置を選んで取り付けてください。



2　スイッチカバーをスイッチ取付板からはずす。

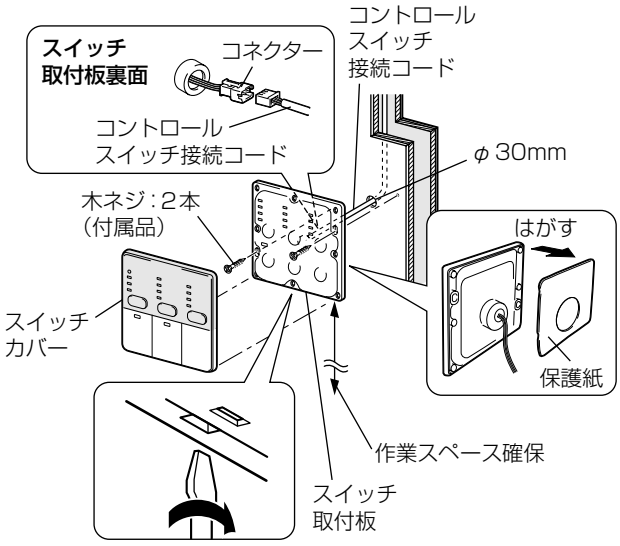
お願い

- スイッチカバーをスイッチレバー（ボタン）の部分で引張り開けるとスイッチレバーが破損する恐れがありますのでボタン部分を引張らないでください。

3　スイッチ取付板裏面のパッキンの保護紙をはがす。

4　スイッチ取付板から出ているコネクターにコントロールスイッチ接続コードを接続する。

5　スイッチ取付板を浴室壁に取付け、付属の木ネジで固定する。ユニットバスなどで、壁パネルにネジが止まらない場合は補強板（木片）を壁パネル裏に設けてください。



お願い

- スイッチ取付板を浴室壁に取付けるときは、水平となるように注意してください。
- 壁面の材質に応じて、付属のアンカーをご使用ください。（アンカー使用の際はあらかじめ下穴開けが必要です）

6　スイッチ取付板周囲と浴室壁面との間を、お客さま手配の浴室用防水コーキング材を塗布し埋める。

7　スイッチカバーをスイッチ取付板にはめ込む。

お願い

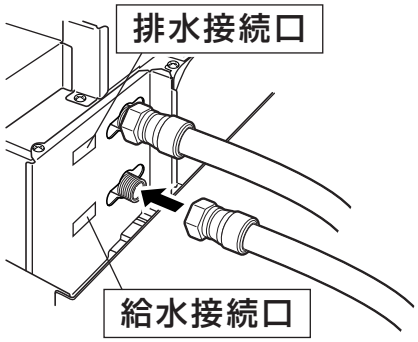
- スイッチ取付板のネジを強くしめすぎると、スイッチ取付板が変形し、スイッチ誤動作やスイッチカバーとのはめ合わせが悪くなる恐れがあります。

6 給水管の配管

1　給水配管内を清掃する。

給水配管と本体とを接続する前に、止水栓を開けて水受け容器などに水を出し、給水配管内のゴミ等の異物を流してください。

2　本体給水接続口（R1／2）に給水用メスネジアダプター継手などで給水配管を接続する。



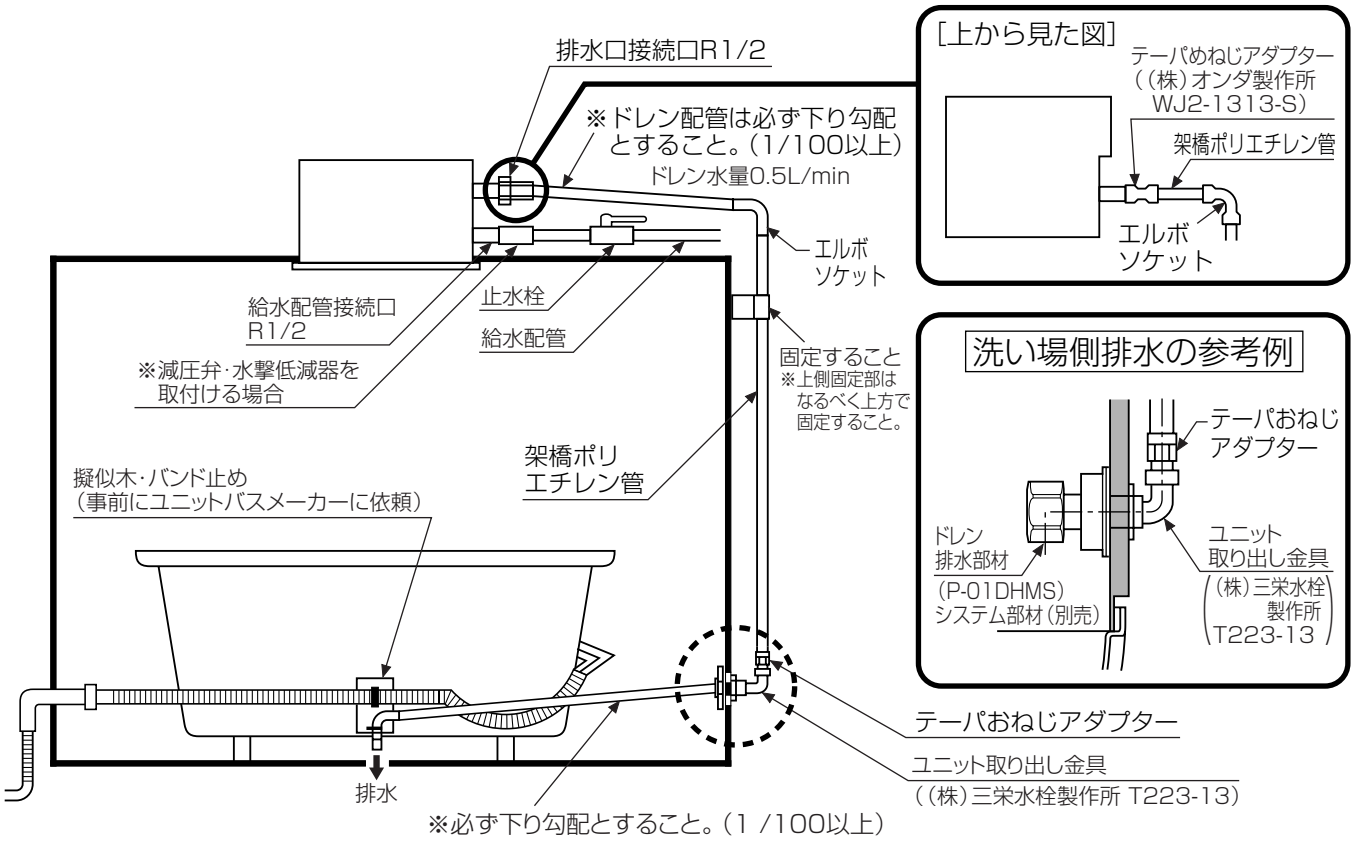
7 ドレン管の配管

1 **排水接続口（R1／2）にドレン排水配管を接続する。**

2 **必ず下りこう配を設け、ドレン排水配管に立ち上がりなどなく、ドレン水が確実に流れることを確認する。**
※ドレン量は最大（ミスト運転後の排水時）で0.5L／min程度となります。

3 **ドレン排水配管内部を流れるドレン温度は、40℃～45℃になることがあります。（最高50℃）**
ドレン温度に耐える配管材を選んでください（耐熱硬質塩化ビニル管または樹脂管（架橋ポリエチレン管））を使用してください。

■配管例



※減圧弁（三栄水栓 V7110-1-13），水撃低減器（三栄水栓 T1670-13）を取付ける場合は、止水栓と給水配管接続口の間に取付けてください。

部材の形名は2010年5月現在のものです。

お願い

- 給水配管は、点検口の上を通さないでください。（点検作業に支障をきたします。）
- 給水配管は、排気ダクト、給気ダクトに当たらないようにしてください。（振動、騒音の原因となります。）
- 給水配管は固定してください。（振動、騒音の原因となります。）
- 浴槽下および、洗い場排水以外で排水する場合は、建物内部に湿気が漏れないように屋外での排水を行うようにしてください。
- 給排水工事にあたっては、各工事業者さまにて適切な部材を選定し、水漏れ等の不具合がないことを確認してください。上図、配管例は、同部材を使用することによって水漏れ等の不具合が無いことを保証するものではありません。
- 必要に応じ、配管の保護、凍結防止策を実施してください。
- ユニットバス内以外にドレン水を流す場合は、樹脂管を使用してください。
- ユニットバスメーカー先行設置の場合は、ユニットバスメーカーとよく打ち合わせをしてください。
- 先行設置でドレン排水配管と接続する場合は工事業者とよく打ち合わせをしてください。
- 必要に応じてユニットバス天井・壁に配管を固定できるよう事前にユニットバスメーカーと打ち合わせをしてください。

8 通水テスト

1　通水し止水栓を開いて、接続部の水漏れがないか確認する。

2　通水テストを行ったあと、止水栓を閉じ、本体ストレーナーをはずし、フィルターの掃除を行う。

3　製品設置後お客様ご使用までに凍結の恐れがある場合は、本体の水抜き処理を行う。

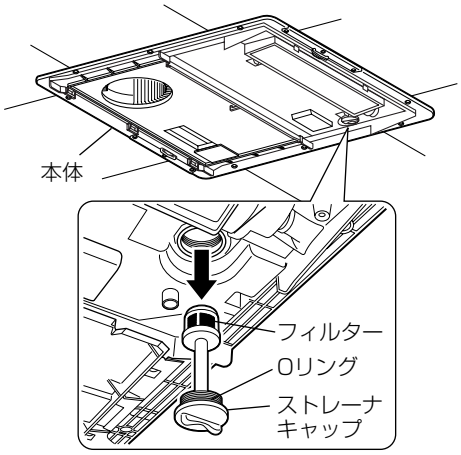
■本体の水抜き方法

①止水栓と給水配管の元栓を閉め、ストレーナーをはずして水抜きをしてからストレーナーを元に戻す。

②脱衣室用コントロールスイッチの「換気／涼風」ボタンを約6秒以上長押しし、本体の水抜きを行ってください。（3分程度）

③脱衣室用コントロールスイッチの「停止」ボタンを押し、水抜き運転を停止します。
（浴室コントロールスイッチでは操作できません）

- 水抜き運転を停止した後は、自動的に本体乾燥運転を実施します。

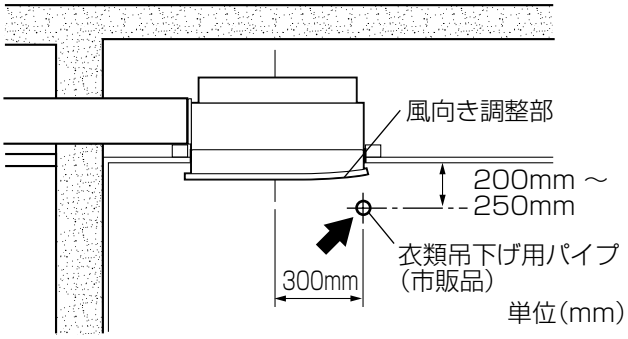


9 衣類吊下げ用パイプの取付け位置

右図の位置に市販のパイプを取付ける。
（風向き調整部を洗い場側にしたときのめやす）

お願い

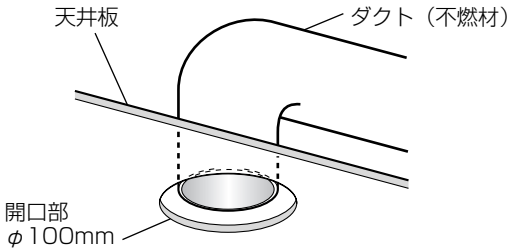
- パイプを購入されるときは必ず1本当り4kg以上の荷重に耐える、耐食性および不燃性のものを購入してください。
- パイプの取付位置は右図を基準として取付けてください。（基準の寸法以外で取付けると乾燥時間が長くなります）



V-273BZL-MS（3部屋用）のみ

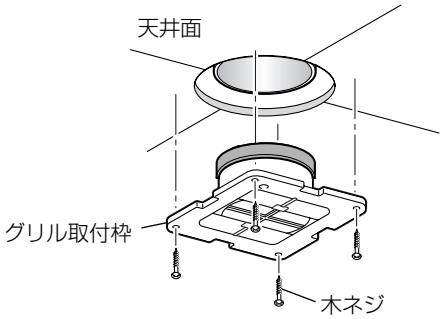
10 副吸込ダクトの取付け

〈副吸込口グリルの取付け〉



1 **ダクト（不燃材）を天井板の吸込口まで配管する。**
- ダクトは天井板から出ないようにしてください。

2 **天井板を張り、取付位置にφ100mmの開口部を開ける。**
ダクトを天井板に貫通させる場合は、ダクトの径に合わせてください。

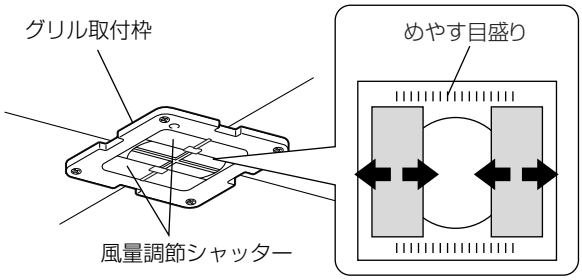


3 **グリルの両側の手掛部を持ってグリル取付枠を外す。**

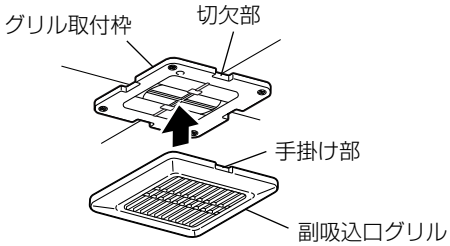
4 **グリル取付枠をダクトに差し込み、付属の木ネジ（φ4.1 × 45 木ネジ 4本）で天井板に固定する。**
- 石こうボードに直接取付けを行う場合は、必ず市販の石こうボード用アンカーを使用してください。

お願い

グリルと天井板とのすき間防止のため、次のように取付けてください。
- 石こうボード用アンカーを使用する場合は、必ずグリル取付枠のネジ穴からはずれないよう確実に取付けてください。
- グリル取付枠は必ず天井板とのすき間がないように確実に取付けてけてください。



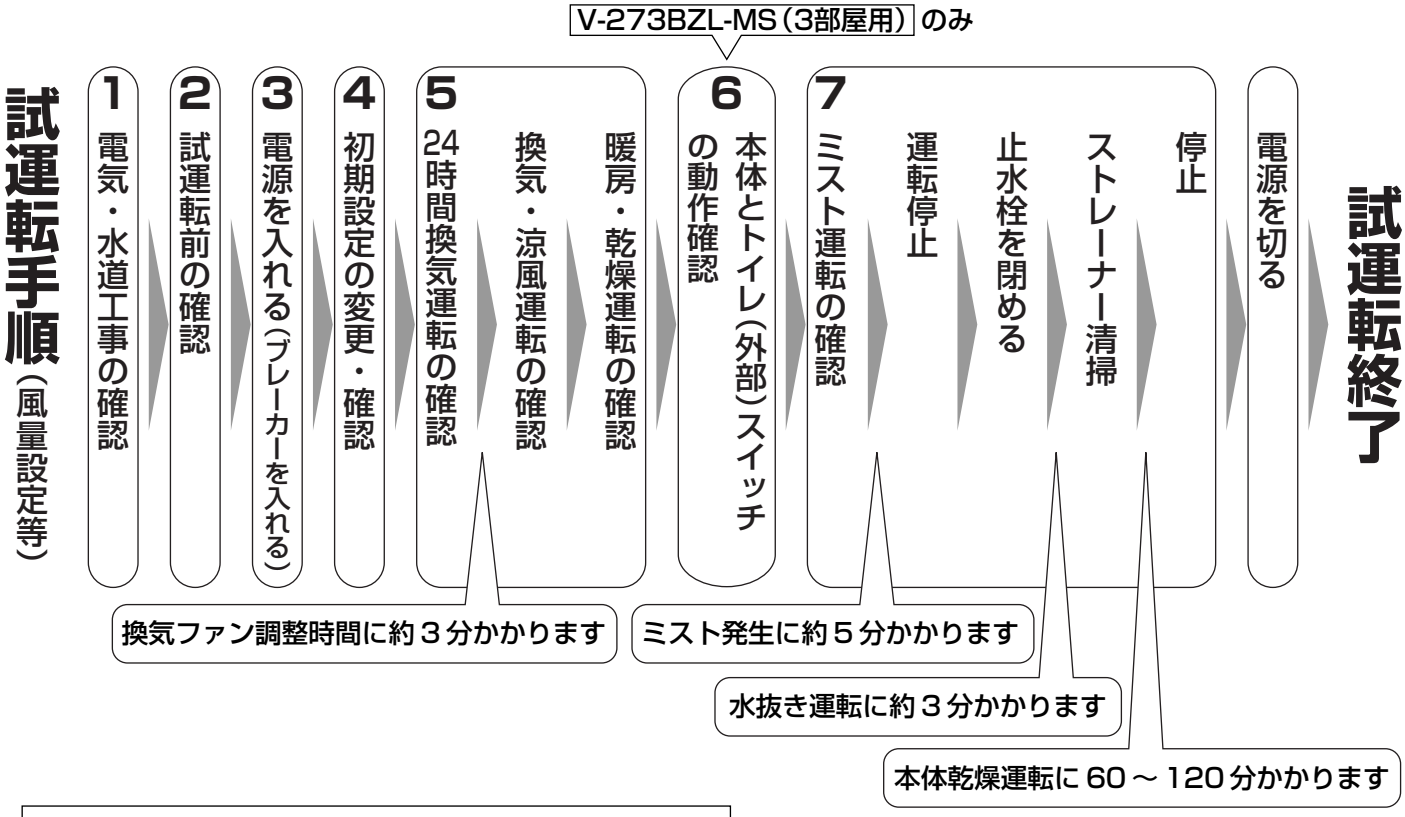
7 **必要に応じて風量調節シャッターにより開口面積を調整する。（目盛りを目安に開口面積を決めます）**
※通常は全開（100%）とします。



お願い
- 本体側の風量設定を確認して副吸込グリルの風量を調整してください。
- 風量調節シャッターは全閉にはしないでください。

8 **グリルの手掛け部とグリル取付枠の切欠部を合わせてはめ込む。**

4. 試運転



試運転前に…

試運転の前にもう一度電源線の接続を十分確認のうえ、単相交流 200V の分電盤ブレーカーを入れて試運転を行ってください。

1 電気・水道工事の確認

- 電気工事が終わりましたら、再度結線が間違っていないか確認して取扱説明書の使用方法を参照し、正常な運転ができるか、また本体の取付けが確実で振動・異常音がないかを確認してください。
  - ダクトおよび給排水工事についてもあらためて確認してください。

2 試運転前の確認

- 浴室のドアや窓は、必ず閉めてから試運転を行ってください。
  閉めないと誤判定の原因になります。
- 止水栓を開け、給水できることを確認する。

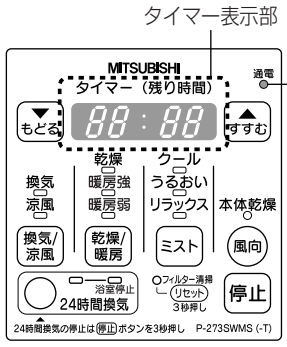
あらかじめ「トイレ（外部）スイッチ」は「切」の状態にしておいてください。

3 電源を入れる（ブレーカーを入れる）

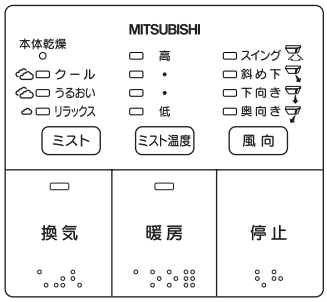
電源を入れると、約15秒間タイマー表示部が右図のように点滅します。

※点滅中はどのボタンを押しても反応しません。

- 脱衣室用コントロールスイッチの通電ランプが点灯します。
- 吹出し口がいったん開き、その後閉じます。



脱衣室用コントロールスイッチ



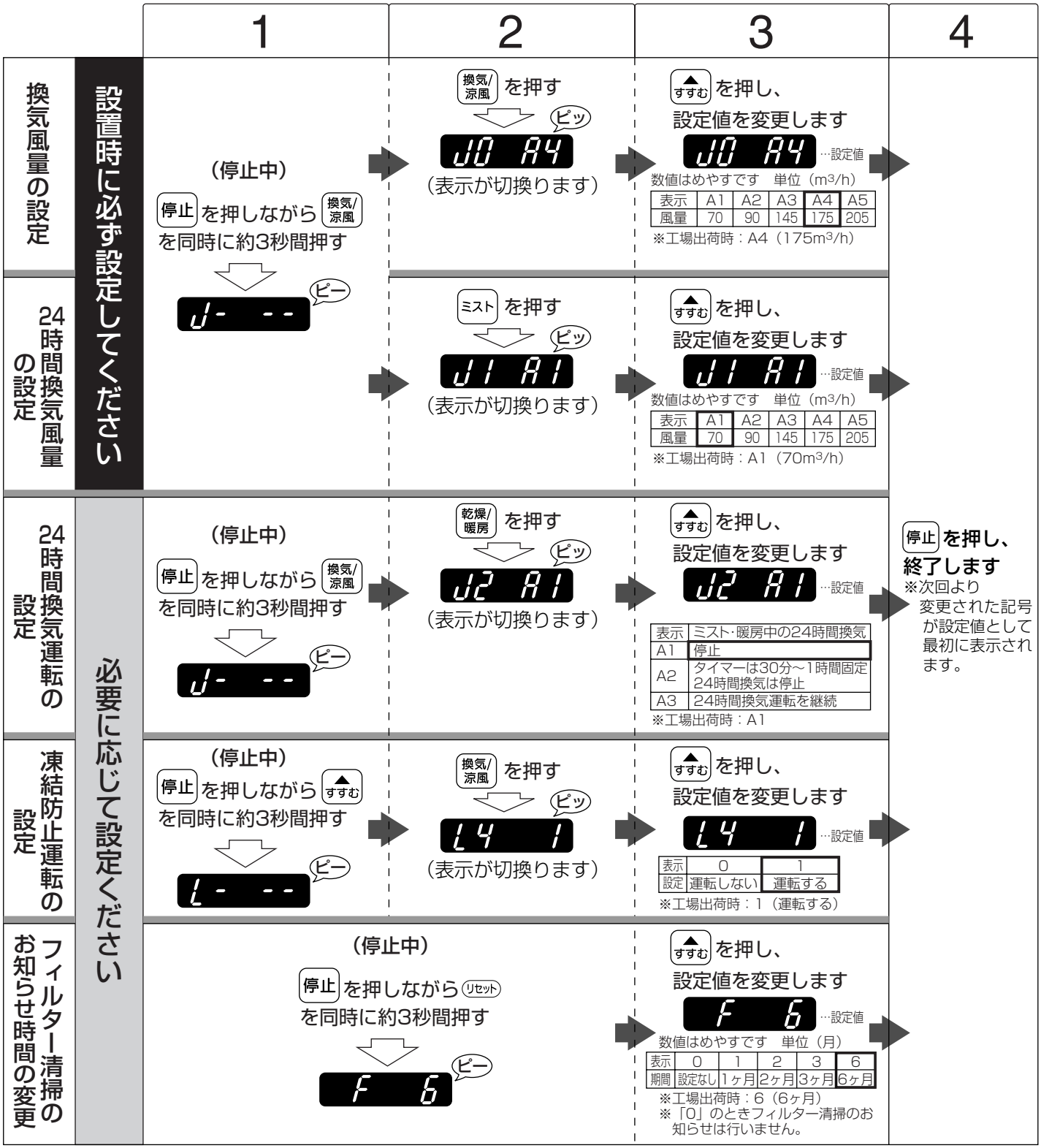
浴室用コントロールスイッチ

4 初期設定の変更・確認

それぞれの初期設定を行う前に、本体の運転を停止させてください。

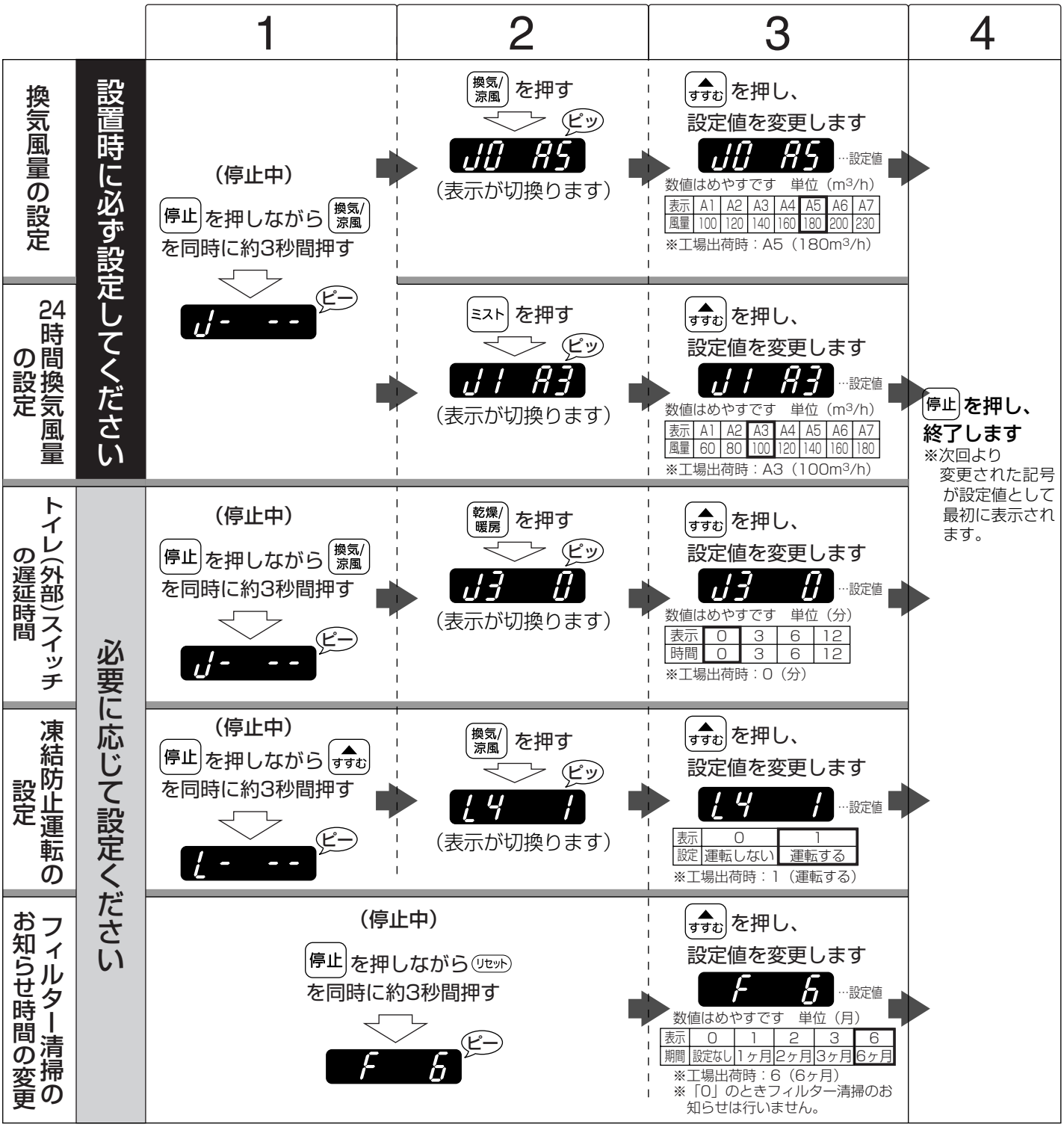
- 本体が停止時のみ設定の変更・確認ができます。
（脱衣室用コントロールスイッチの通電表示ランプのみ点灯した状態で操作してください）
- 24時間換気中は 停止 を3秒以上押し、本体を停止させてから変更してください。
- 設定が終了しましたら、24時間換気中であった場合は 浴室停止 24時間換気 を押し、24時間換気を開始してください。

■V-271BZ-MS（1部屋用）



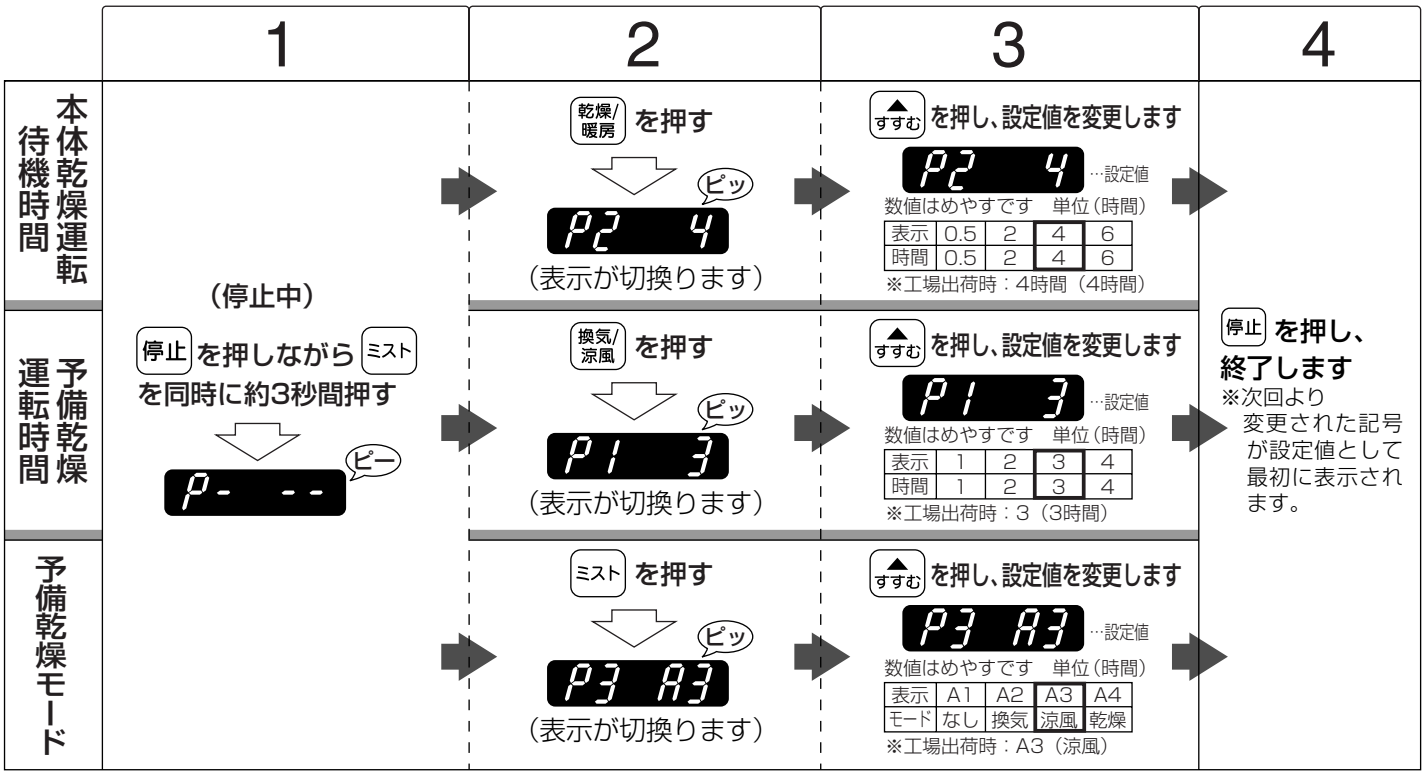
※上記以外の表示となった場合は 停止 を押し、はじめからやり直してください。

■V-273BZL-MS（3部屋用）



※上記以外の表示となった場合は 停止 を押し、はじめからやり直してください。

■本体乾燥運転（待機時間、予備乾燥運転時間、予備乾燥運転内容）（1部屋用、3部屋用共通）



お願い ●この他の表示は使用しない設定です。
表示された場合は何も変更せずに停止ボタンを押してください。

5 運転の確認

取扱説明書の使用方法を参照し、正常な運転ができているか確認してください。
また、振動や異常音ががないかを確認してください。

「24時間換気」「換気」「涼風」「暖房」「乾燥」

	操　作	脱衣室用コントロールスイッチ	☑	内容
24時間換気	①◯ボタンを押す	浴室停止 ランプが 24時間換気 点灯する	□	本体グリルの吸込口から換気していることを確認する。（吸込口には手を入れない）〈V-273BZL-MS（3部屋用）の場合〉本機が自動的に約3分間調整運転を行います。（回転数が急激に変化します）
	②もう一度◯ボタンを押す	浴室停止 浴室停止ランプが 24時間換気 点灯する	□	24時間換気運転を約1時間停止します。（停止中にもう1度ボタンを押すと運転を再開します）
換　気 涼　風	換気/涼風 ボタンを押す 繰返し押すと機能が切換ります。	換気 涼風 ⟷ 換気 涼風	□	本体グリルの吸込口で風の動き（換気・涼風）を確認する。（吸込口には手を入れない）
暖　房 乾　燥	乾燥/暖房 ボタンを押す 繰返し押すと機能が切換ります。	乾燥 暖房強 暖房弱 → 乾燥 暖房強 暖房弱 → 乾燥 暖房強 暖房弱	□	本体吹出し口から温風が出ていることを確認する。（吹出し口には手を入れない）

※電源リセット後にはじめて換気・涼風・暖房・乾燥・ミスト運転を行うときは、自動的に24時間換気運転を開始します。24時間換気運転以外の運転を確認する場合は、停止ボタンを3秒以上押し、24時間換気運転を停止してください。

V-273BZL-MS（3部屋用）のみ

6 本体とトイレ(外部)スイッチの確認

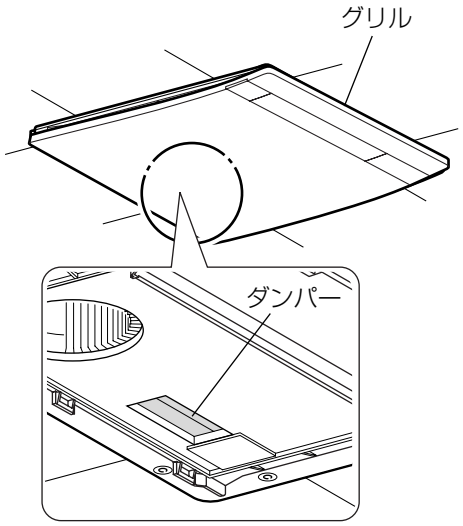
本体ダンパーの動作確認

①24時間換気運転中にもう一度24時間換気ボタンを押す。

表示ランプの右側が点灯し、浴室のダンパーを閉じて浴室のみ換気しないようにできます。

メモ

・浴室換気の停止中は本体のダンパーが閉じます。
・ダンパー開閉の状態は、フィルターをはずせば確認できます。
・ダンパー動作中は運転音が小さくなります。



トイレ(外部)スイッチと各モードの関係

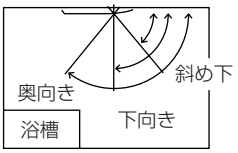
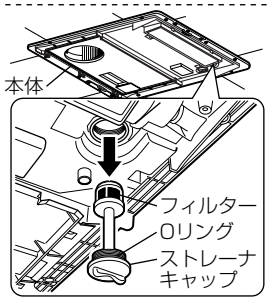
■トイレ(外部)スイッチを入れた時のダンパー開閉

運転内容	トイレ(外部)スイッチ切	トイレ(外部)スイッチ入
24時間換気	ダンパー開※○	ダンパー閉 ●
換気	ダンパー開 ○	ダンパー開 ○
暖房	ダンパー閉 ●	ダンパー閉 ●
乾燥	ダンパー開 ○	ダンパー開 ○
涼風	ダンパー開 ○	ダンパー開 ○

※24時間運転で「浴室停止」をしている場合はダンパーは閉じた状態です。

■トイレまたは洗面所にトイレ（外部）スイッチを設置した場合、トイレ（外部）スイッチを入れると浴室のダンパーを閉じて換気運転を行います。

7 ミスト運転の確認

	操　作	脱衣室用コントロールスイッチ	☑	浴室用コントロールスイッチ	☑	内容
1	**脱衣室用または浴室用コントロールスイッチの「ミスト」ボタンを押す** ※止水栓が開いていることを確認してください。 ※止水栓を開いても給水異常が出る場合、下記9のストレーナーの清掃を行い電源リセットしてください。	うるおい　24時間換気　ランプが点灯する	□	うるおい 斜め下　ランプが点灯する 高	□	**風向き調整部が斜め下方向に開く。送風機ファンが回転し、吹出し口から風が出ることを確認する。** **（吹出し口には手を入れない）**
2	**「ミスト」ボタンを繰り返し押し、「クール」運転にする** 約5分経過すると吹出し口よりミストが出ます。	クール　ランプが点灯する	□	クール 斜め下　ランプが点灯する	□	――
3	**脱衣室用または浴室用コントロールスイッチの「風向」を押す**	風向　**ボタンを押すごとに切換ることを確認する** 風向き調整部の動きは目視で確認する	□	スイング 斜め下 下向き 奥向き 風向　**ボタンを押すごとに切換ることを確認する**	□	
4	**給水配管やドレン排水管の配管接続部の水漏れ、異常音、振動、その他異常のないことを確認してください。**	――	□	――	□	**ミスト運転中は、給水管に水が流れる音「シャー」や電磁弁の動作音「コン（ゴン）」、ミスト発生部の動作音「ジー」などがします。**
5	**脱衣室用または浴室用コントロールスイッチの「停止」ボタンを押す**	ランプが消灯する	□	全てのランプが消灯する	□	**風向き調整部が閉じる**
6	**止水栓を閉じる**	――	□	――	□	――
7	**すぐに脱衣室用コントロールスイッチの「換気／涼風」ボタンを約6秒間押す** 水抜き運転を開始します。5分以内に押さないと給水異常（E-23）が出る場合があります。 その場合、いったん電源を切り再度電源を入れてください。	「TEST」点灯する	□	本体乾燥　ランプが点灯する	□	――
8	**水抜き運転を約3分行う** 水抜き運転中はドレン水がつまりなどなく、スムーズに流れることを確認してください。	――	□	――	□	――
9	**ストレーナーの清掃を行う** **①グリルを外し、ストレーナーキャップをはずして水抜きをする。** 水がかかるおそれがありますので、受け皿などで水を受けてください。 **②ストレーナーキャップを元に戻す。** このときゴミを挟み込んだり、Oリングに傷をつけないよう注意してください。 **③グリルを元に戻す。**	――	□	――	□	
10	**脱衣室用コントロールスイッチの「停止」ボタンを押す** **自動的に本体乾燥運転を開始します。**	本体乾燥　ランプが点灯する	□	本体乾燥　ランプが点灯する	□	――

■停止後、脱衣室用、浴室用コントロールスイッチの「本体乾燥」ランプが点灯している間（60 ～ 120 分）は本体乾燥運転を行っています。

換気ファンと循環ファンが回転し、ヒーターの温風で製品本体内と浴室内を乾燥します。

- **本体乾燥運転中は他の運転への切換えは行わないでください。**
  （切換えた場合は本体乾燥が終了するまでに長時間かかります。その場合はいったん運転を停止させて操作 7 からやり直してください。）
- **本体乾燥運転中はブレーカーを切らないでください。**

※本体乾燥運転が終了してからブレーカーを切ってください。

異常表示

●脱衣室用コントロールスイッチのタイマー表示部にこのような表示が出ているときは、表示内容をメモして処置内容をご確認ください。

（浴室用コントロールスイッチは5コの表示ランプが点滅します）

表示内容	原因・処置		運転できる機能	ミスト	暖房	24時間	換気	乾燥	涼風
E-00 下2桁が00番台	制御回路の動作異常です	電源ブレーカーを切ってお買い上げの販売事業者・据付事業者または三菱電機修理窓口へご連絡ください	どの機能も運転できません	×					
E-20	水位センサーの検知異常です（止水栓は開いていますか？ストレーナが目詰まりしていませんか？）	お買い上げの販売事業者・据付事業者または三菱電機修理窓口へご連絡ください（※1）	本体乾燥運転が終了後、ミスト以外の機能は運転できます	×	○				
E-23	正常に給水されていません（止水栓は開いていますか？ストレーナが目詰まりしていませんか？）								
E-24	正常に排水されていません	止水弁を閉じて、電源ブレーカーを切ってお買い上げの販売事業者・据付事業者または三菱電機修理窓口へご連絡ください	どの機能も運転できません	×					
E-25	正常に排水されていません								
E-26	排水弁の動作異常です（給水しても本体内タンクが満水にならない）	お買い上げの販売事業者・据付事業者または三菱電機修理窓口へご連絡ください（※1）	本体乾燥運転が終了後、ミスト以外の機能は運転できます	×	○				
E-27	水位センサーの検知異常です								
E-30	本体乾燥運転の異常です（本体乾燥運転中に浴室内温度が低かったり、シャワーの使用中など湿度が高くありませんか？）	再度ミスト運転後の本体乾燥を行い異常となった場合はお買い上げの販売事業者・据付事業者または三菱電機修理窓口へご連絡ください	本体乾燥運転が終了後、ミスト以外の機能は運転できます	×	○				
E-31	ヒーターまたはヒーター回路の異常です	電源ブレーカーを切ってお買い上げの販売事業者・据付事業者または三菱電機修理窓口へご連絡ください	どの機能も運転できません	×					
E-33	温風吹出し温度が上がりすぎています	お買い上げの販売事業者・据付事業者または三菱電機修理窓口へご連絡ください（※1）	右表の機能は運転できます	×		○		×	
E-34	吹出しサーモの異常です								
E-40	電源電圧が低すぎます	電源ブレーカーを切ってお買い上げの販売事業者・据付事業者または三菱電機修理窓口へご連絡ください	どの機能も運転できません	×					
E-41	換気ファンが停止しています								
E-42	ヒーター回路の異常です								
E-43	循環ファンが停止しています	お買い上げの販売事業者・据付事業者または三菱電機修理窓口へご連絡ください（※1）	右表の機能は運転できます	×		○		×	

※1：停止 ボタンを押して表示を消してください。その後約5分間待ち、本体乾燥の表示が点灯した場合は、本体乾燥運転終了までお待ちください。

表示内容	原因・処置		運転できる機能	ミスト	暖房	24時間	換気	乾燥	涼風
E- 51	吹出し温度センサーの異常です（外れ、断線など）	お買い上げの販売事業者・据付事業者または三菱電機修理窓口へご連絡ください（※1）	右表の機能は運転できます	×		○		×	○
E- 53	水温センサーの異常です（外れ、断線など）		ミスト以外の機能は運転できます	×	○				
E- 54	吸込み温度センサーの異常です（外れ、断線など）		右表の機能は運転できます	×		○		×	○
E- 56	ドレンセンサーの異常です（外れ、断線など）	お買い上げの販売事業者・据付事業者または三菱電機修理窓口へご連絡ください（※1）	本体乾燥運転が終了後、ミスト以外の機能は運転できます	×	○				
E- 61	本体と脱衣室用コントロールスイッチの通信が正常に行われていません	電源ブレーカーを切ってお買い上げの販売事業者・据付事業者または三菱電機修理窓口へご連絡ください	どの機能も運転できません	×					
E- 68	本体と脱衣室用コントロールスイッチの通信が正常に行われていません								
E- 65	本体と浴室用コントロールスイッチの通信が正常に行われていません	お買い上げの販売事業者・据付事業者または三菱電機修理窓口へご連絡ください（※1）	脱衣室用コントロールスイッチが正常であれば、脱衣室用コントロールスイッチから操作できます	○					
E- 66	本体と浴室用コントロールスイッチの通信が正常に行われていません								
E- 70	専用のコントロールスイッチが接続されていません	電源ブレーカーを切ってお買い上げの販売事業者・据付事業者または三菱電機修理窓口へご連絡ください	どの機能も運転できません	×					

※1：停止 ボタンを押して表示を消してください。その後約5分間待ち、本体乾燥の表示が点灯した場合は、本体乾燥運転終了までお待ちください。

CALL	ミスト発生部のメンテナンス時期です	お買い上げの販売事業者・据付事業者または三菱電機修理窓口へご連絡ください	CALL表示中でも運転は可能です	○						

上記以外の表示	ブレーカーを切ってお買い上げの販売事業者・据付事業者へご連絡ください

■停電復帰時

停電復帰したときは、脱衣室用コントロールスイッチは約15秒間下図のように点滅します。
点滅中は動作しません。

■凍結防止運転

冬期など本体内の温度が約2℃以下になると、本体内部の配管の凍結を防止するため、一定時間ヒーターによる温風循環運転を行います。
本体内の温度が上昇すると停止し表示が消えます。

（表示中はミスト運転ができません）

■法定点検のお願い

				ミスト	暖房	24時間	換気	乾燥	涼風
88	法定点検時期となっております（※2）	本品は消費生活用製品安全法で定められた特定保守製品です。法律に定められた点検時期になっておりますので至急点検を受けてください。ご連絡先：0120−490−499	表示中でも運転は可能です	○					

※2：表示時期は本体の通電時間に基づいているため、製造時を起点とする法定点検時期よりも遅くなります。

三菱電機株式会社

■平日　9:00～12:00　13:00～19:00（土・日・祝・弊社休日以外）
三菱電機 換気送風機技術相談センター……電話　0120－726－471（無料）〒508-8666　岐阜県中津川市駒場1番3号

■その他の時間
三菱電機 お客さま相談センター……電話　0120－139－365（無料）〒154-0001　東京都世田谷区池尻3-10-3

この説明書は、
再生紙を使用
しています。